

ボルトオンターボ プロキット GTⅢ-RS

取 付 説 明 書



本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	ボルトオンターボ プロキット GTⅢ-RS
用 途	自動車専用部品
コード No.	11001-AT011
取付説明書品番	E04211-T59091-00 Ver. 3-3. 02
メーカー車種	・ トヨタ GR86 (3BA-ZN8) (MT) ・ スバル BRZ (3BA-ZD8) (MT)
エンジン型式	FA24
対 応 年 式	・ トヨタ GR86 (3BA-ZN8) 2021/10～ ・ スバル BRZ (3BA-ZD8) 2021/08～

※適合車両の年式は、2024 年 8 月現在のものです。

2024 年 8 月以降に登録された車両への適合については、HKS サポートセンターにお問い合わせください。

改訂の記録

No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3. 01	2024/08	初版
3-3. 02	2024/10	誤記修正

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	1
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツの取外し	6
2. ノーマルパーツの加工・移動	9
3. オイルインレットの取付け	16
4. ターボチャージャーブラケットの取付け	18
5. エキゾーストマニホールドの取付け	20
6. ターボチャージャーの組立て	23
7. ターボチャージャーとオイルリターンホースの取付け	24
8. エクステンションパイプの取付け	26
9. ターボチャージャーインシュレーター部品等の取付け	29
10. エアクリーナー、サクションパイプの取付け	34
11. インタークーラーの取付け	36
12. パイピングの取付け	39
13. ノーマルパーツの取付け	40
14. 取付け後の確認	42
15. 工場出荷時の設定	42
16. 自動車排出ガス試験結果証明書について	42

はじめに

この度は、HKS ボルトオンターボキットをお買い上げいただきまことにありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。
取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。
本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行ってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行わないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

備 考
●本製品を使用時のエンジン及び補機類等の破損については一切保証をいたしません。 ●本製品には、制御装置、スパークプラグは含まれておりません。 ●ラジエーターサポート・フロントバンパーラインホースメント・ファンシュラウド、オイルパン等の加工が必要になります。 ●エンジンプラグの焼け具合を確認し、プラグの交換を行ってください。 HKS SUPER FIRE RACING M50HL (50003-M50HL) NGK10 番相当 (純正 9 番相当) ●エンジン制御装置によるリセッティングが必ず必要となります。 必ず燃料と点火のリセッティングを行ってください。 セッティングを行わない場合、エンジンを破損する恐れがあります。 ●エンジンオイルは高温粘度 30 もしくは、40 を推奨します。 ●本製品のアクチュエーター設定過給圧は約 60～70kPa です。 ●付属の自動車排出ガス試験結果証明書は本書と一緒に大切に保管してください。 ※GR86(AT)、BRZ(AT)は対応しておりません。(車検非対応) ●オイルリターンパイプは溶接が必要です。 ●遮熱材取付けのためにステンレスワイヤーを使用します。 ●スリーボンド 1324 またはそれに準じた嫌気性封着剤(中強度タイプ)を使用します。 ●スリーボンド 1217G またはそれに準じたシリコン系シール剤を使用します。 ●取付け作業時間は、およそ 16 時間となります。

パーツリスト

No. 1

連番	品名	数量	備考
1	ターボチャージャーAssy	1	GTⅢ-RS
2	エキゾーストマニホールド	1	
3	エクステンションパイプ	1	キャタライザー付き
4	サクションパイプ	1	φ80
5	インタークーラーパイプ	2	φ60
6	チャンバーパイプ	1	φ70
7	インタークーラー	1	
8	ターボチャージャーブラケット No. 1	1	
9	スペーサー	1	φ20 段付き
10	スペーサー	1	φ20
11	ターボチャージャーブラケット No. 2	1	ターボチャージャー下
12	ターボチャージャーブラケット No. 3	1	ターボチャージャー横
13	オイルインレットホース	1	L=460mm
14	オイルインレットバンジョウ	1	
15	バンジョウボルト	1	M12 P1.25
16	銅ワッシャー	2	φ17×φ12
17	チーズ PT1/8	1	PT1/8
18	ニップルヘキサゴン	1	
19	ニップルオイルライン	1	
20	サーモチューブ	1	φ16
21	オイルアウトレットパイプ	1	
22	ガスケット	1	オイルアウトレットパイプ用
23	オイルリターンパイプ	1	オイルパン溶接用
24	ホース	1	φ16 L=250mm
25	サーモチューブ	1	φ30 L=500mm
26	ウォーターラインバンジョウ No. 1	1	
27	ウォーターラインバンジョウ No. 2	1	
28	バンジョウボルト	2	M14
29	銅ワッシャー	4	φ20×φ14
30	ホース	1	φ8 L=550mm
31	ジョイントパイプ	2	φ8 - φ10
32	ガスケット	2	EX マニホールド E/G 側
33	ガスケット	1	EX マニホールド T/C 側
34	ガスケット	1	エクステンションパイプ T/C 側
35	ガスケット	1	エクステンションパイプ マフラー側
36	インタークーラーブラケット No. 1	1	左
37	インタークーラーブラケット No. 2	1	右
38	インタークーラーブラケット No. 4	1	下

パーツリスト

No. 2

連番	品名	数量	備考
39	スペーサー	2	φ 16
40	エクステンションブラケット	1	
41	スーパーパワーフロー	1	φ 200-φ 80
42	シリコンホース	2	φ 80
43	シリコンホース	3	φ 60 L=70
44	シリコンホース	1	φ 60 L=85
45	シリコンホース	1	φ 74-φ 79
46	ハーネスブラケット	1	
47	ホースバンド	4	#52
48	ホースバンド	2	#48
49	ホースバンド	8	#40
50	ホースバンド	2	#28
51	ホース	1	φ 12 L=200mm
52	ジョイントパイプ	1	φ 12
53	ターボチャージャーインシュレーター No. 1	1	ターボチャージャー用上側
54	ターボチャージャーインシュレーター No. 2	1	ターボチャージャー用下側
55	インシュレーター φ 50 用 L100mm	1	EX マニホールド用
56	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1	1	ブラケット本体
57	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2	1	パイプ押さえ
58	スタッドボルト	4	M8 13-8-14
59	スタッドボルト	5	M8 7-10-14
60	フランジボルト	2	M10 L=50 7 マーク
61	フランジボルト	4	M8 L=15
62	フランジボルト	1	M8 L=10
63	フランジボルト	2	M6 L=35
64	フランジボルト	2	M6 L=15
65	フランジボルト	7	M6 L=10
66	六角ボルト	2	M10 L=40
67	六角ボルト	7	M8 L=35
68	六角ボルト	8	M8 L=15
69	六角ボルト	1	M6 L=25
70	六角ボルト	1	M6 L=15
71	低頭キャップボルト	1	M8 L=35
72	ボタンボルト	2	M4 L=10
73	フランジナット	2	M8
74	フランジナット	4	M6
75	六角ナット	2	M10
76	六角ナット	1	M6

パーツリスト

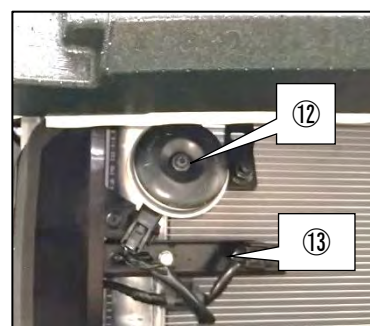
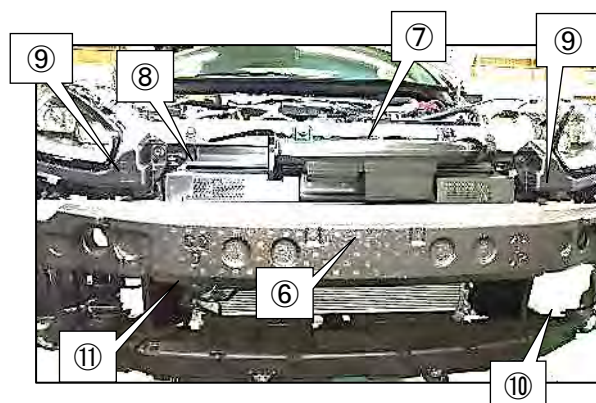
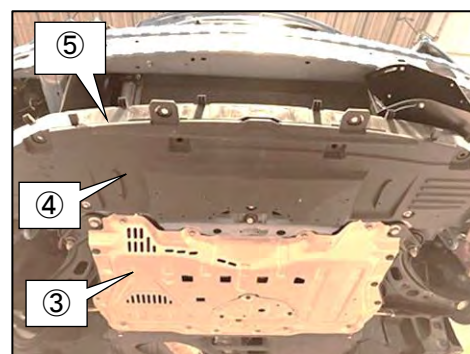
No. 3

連番	品名	数量	備考
77	M8 ロックナット	9	
78	M10 プレーンワッシャー	4	
79	M8 プレーンワッシャー	8	外径 φ15
80	M8 プレーンワッシャー	8	外径 φ18
81	M6 大径ワッシャー	3	
82	ホースクランプ	4	刻印 230
83	ホースクランプ	2	刻印 180
84	ホースクランプ	5	刻印 130
85	ホースクランプ	1	刻印 115
86	スペーサー	8	φ25×φ10×L15
87	スペーサー	1	φ20×φ6×L10
88	コルゲートチューブ	2	φ10 L70mm
89	コルゲートチューブ	1	φ15 L500mm
90	コルゲートチューブ	1	φ22 L300mm
91	タイラップ 大	10	
92	タイラップ 中	10	
93	タイラップ 小	10	
94	スポンジシート	5	50mm×50mm
95	遮熱テープ	2	t1.7×70mm×1000mm
96	遮熱シート	2	300mm×300mm
97	M6 キャップボルト	2	L=15
98	M6 ワッシャー	2	
99	取付説明書	1	本書
100	取扱説明書	1	
101	自動車排出ガス試験結果証明書	1	GR86 (MT) ・ BRZ (MT)

1. ノーマルパーツの取外し

整備要領書に従って作業を行ってください。

- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取り外します。
- (2) サイドターンシグナルランプ左右の①コネクターを取り外します。
- (3) ②フロントバンパーを取り外します。
(再使用部品)
- (4) ③エンジンアンダーカバーを取り外します。
(再使用部品)
- (5) ④フロントバンパーカバーローアを取り外します。
(再使用部品)
- (6) ⑤フロントバンパーステーブラケットを取り外します。
(再使用部品)
- (7) エンジンオイルを抜きとります。
- (8) ⑥フロントバンパーエネルギーアブソーバーを取り外します。
(加工後再使用部品)
- (9) ⑦エアクリーナーインレットを取り外します。
- (10) ⑧ラジエーターカバープレートを取り外します。
- (11) ⑨左右のフロントバンパーコーナーブラケットを取り外します。(再使用部品)
- (12) ⑩ウォッシャータンクを取り外します。(加工後再使用部品)
- (13) ⑪フロントバンパーリインフォースメントから
⑫ホーンを取り外します。(移設し再使用部品)
- (14) ⑬外気温度センサーをコンデンサーブラケットから外します。
(移設して再使用部品)
- (15) ⑪フロントバンパーリインフォースメントを取り外します。(加工後再使用部品)



(16) ⑭ラジエーターガイド右側を取り外します。
(再使用部品)

(17) ⑮A/C コンデンサーブラケットを取り外します。
(再使用部品)



(18) ⑯エアクリーナーケース、インレットパイプ、
レゾネーターを取り外します。

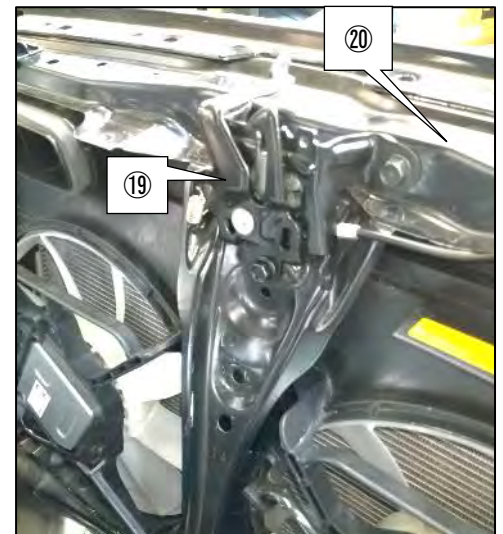
(19) ⑰A/C コンプレッサ側のベルトカバーを
取り外します。(再使用部品)

(20) ⑱オイルレベルゲージガイドを取り外します。
(加工後再使用部品)



(21) ⑲ボンネットフックをラジエーターサポートから取り外し
ます。
(再使用部品)

(22) ⑳ラジエーターサポートを取り外します。
(加工後再使用部品)



(23) ㉑エアークリーナーケースブラケットを取り外します。

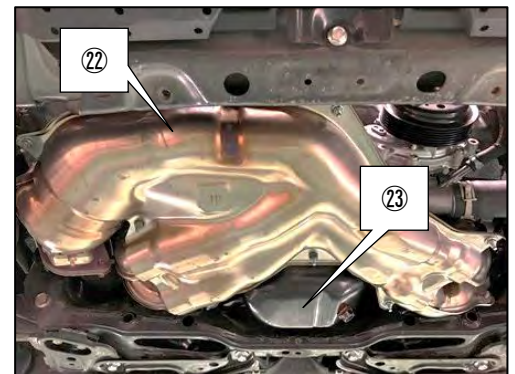
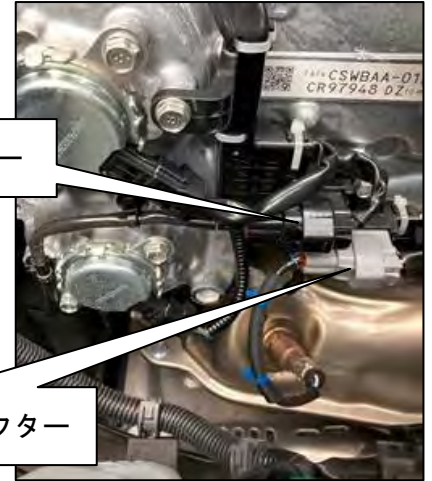


(24) A/F センサーと、O₂ センサーのコネクターを外します。O₂ センサーハーネスのクランプを外します。

②②エキゾーストマニホールドを取り外します。
外したナットは再使用します。

O₂ センサーコネクター

A/F センサーコネクター



(25) ②③オイルパンを取り外します。

(加工後再使用部品)

(外したボルト、シール 2 個は再利用します。)

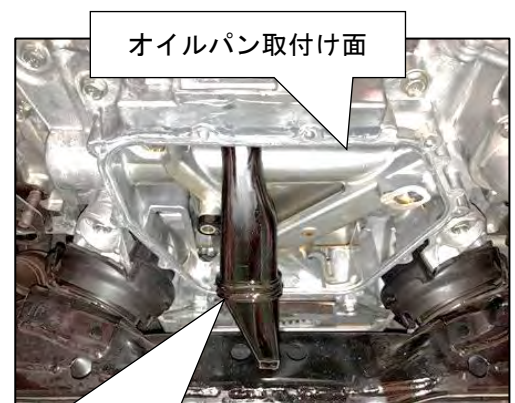


(26) オイルパンを外した後は、取付け面のガスケットを除去します。

アドバイス

オイルストレーナーに液体ガスケットの破片が付着しています。

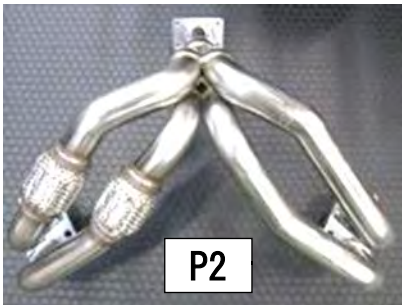
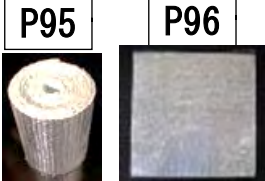
ピンセットなどで除去してください。



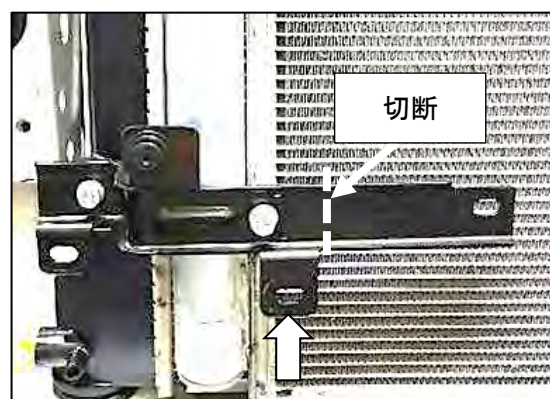
チューブ内にストレーナーがあります。
液体ガスケットの破片を除去してください。

2. ノーマルパーツの加工・移動

パーツリスト

		No.	品名	数量
	P23	P2	エキゾーストマニホールド	1
	P32	P23	オイルリターンパイプ	1
	P25	P25	サーモチューブ φ30	1
	P32	P32	ガスケット	2
	P82	P82	ホースクランプ 刻印 230	2
	P84	P84	ホースクランプ 刻印 130	1
	P85	P85	ホースクランプ 刻印 115	1
	P95	P95	遮熱テープ 70mm×1000mm	1
	P96	P96	遮熱シート 300mm×300mm	1

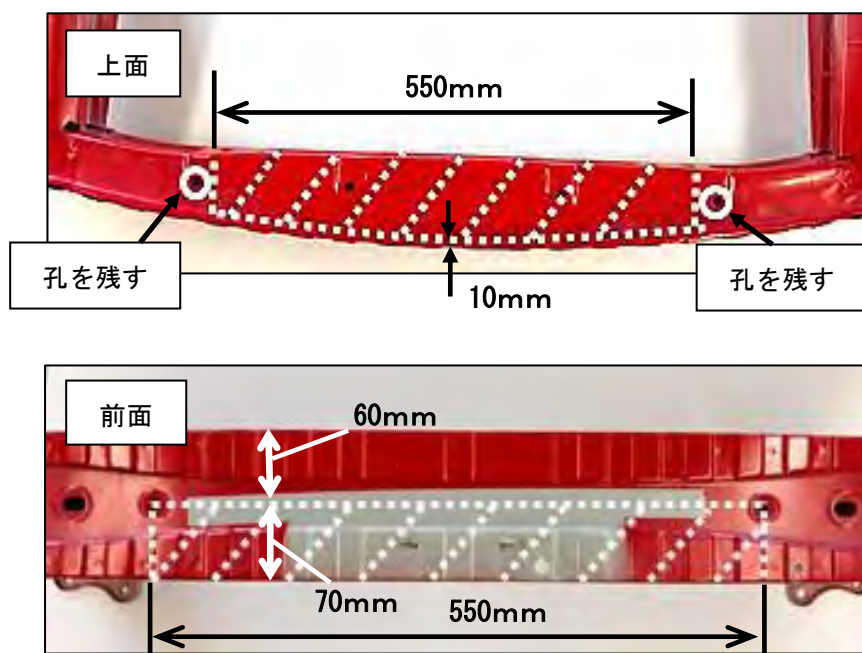
- (1) 右図の点線に沿って、A/Cコンデンサーブラケットの一部を切り取ります。
外気温センサーを矢印部の孔に取り付けます。



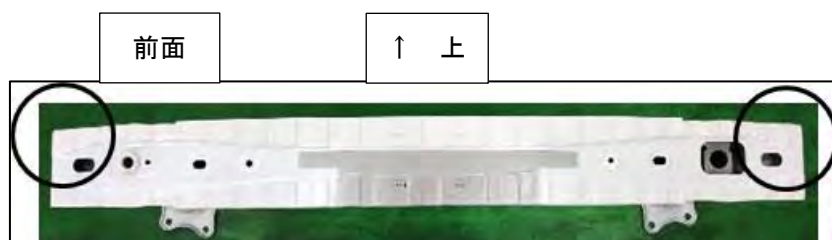
- (2) 下図のように、フロントバンパーリインフォースメントの網掛け部分を切り取ります。

アドバイス

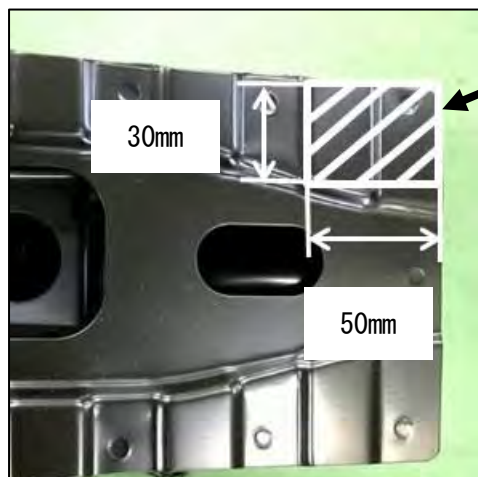
インタークーラーを取り付けるための両端の孔（右図）を残してください。
網掛け部分をカットした後、バリ取りと、防錆処理をしてください。



※BRZ の場合は、さらにフロントバンパーリインフォースメントの一部を下図のようにカットします。



※寸法は左右対称です。

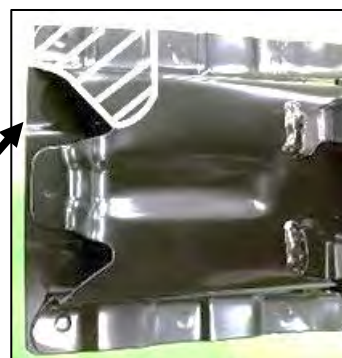


斜線部を切り取ります。
※フロントバンパーの干渉回避

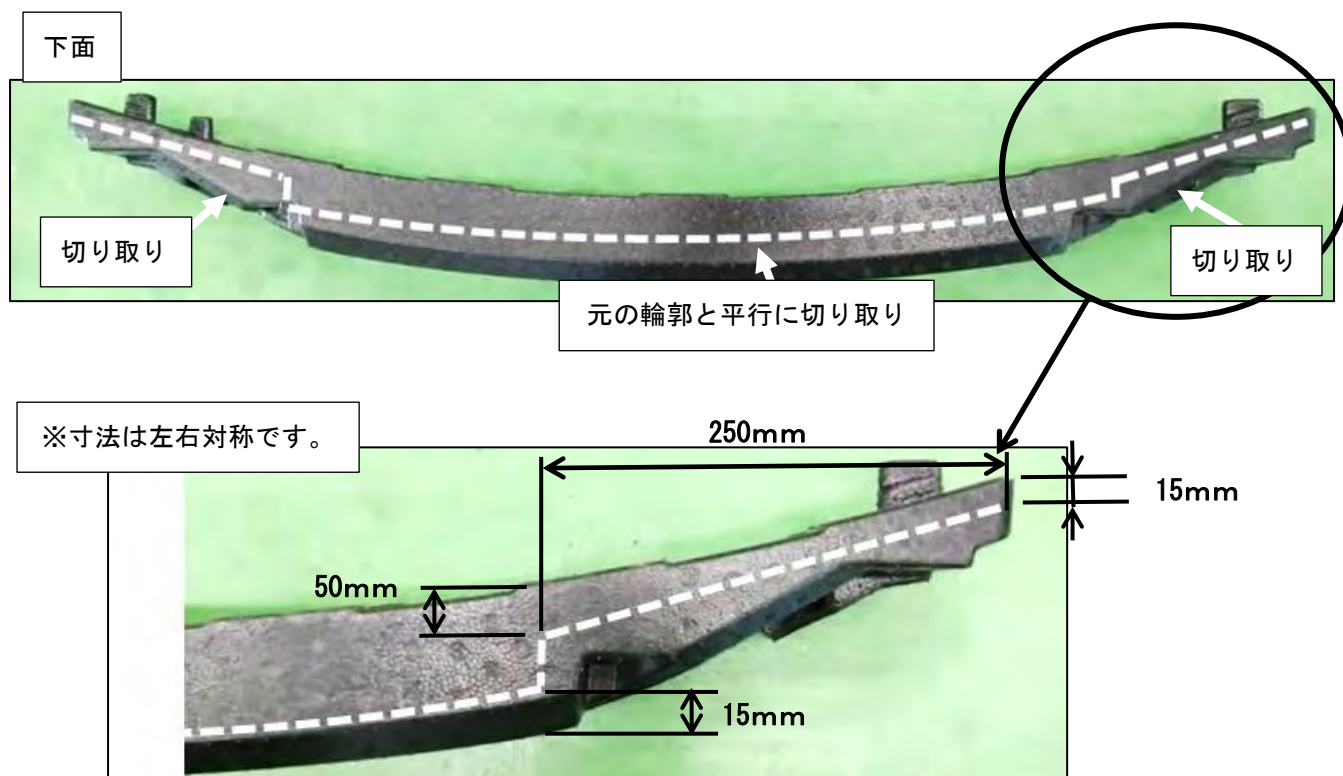
アドバイス

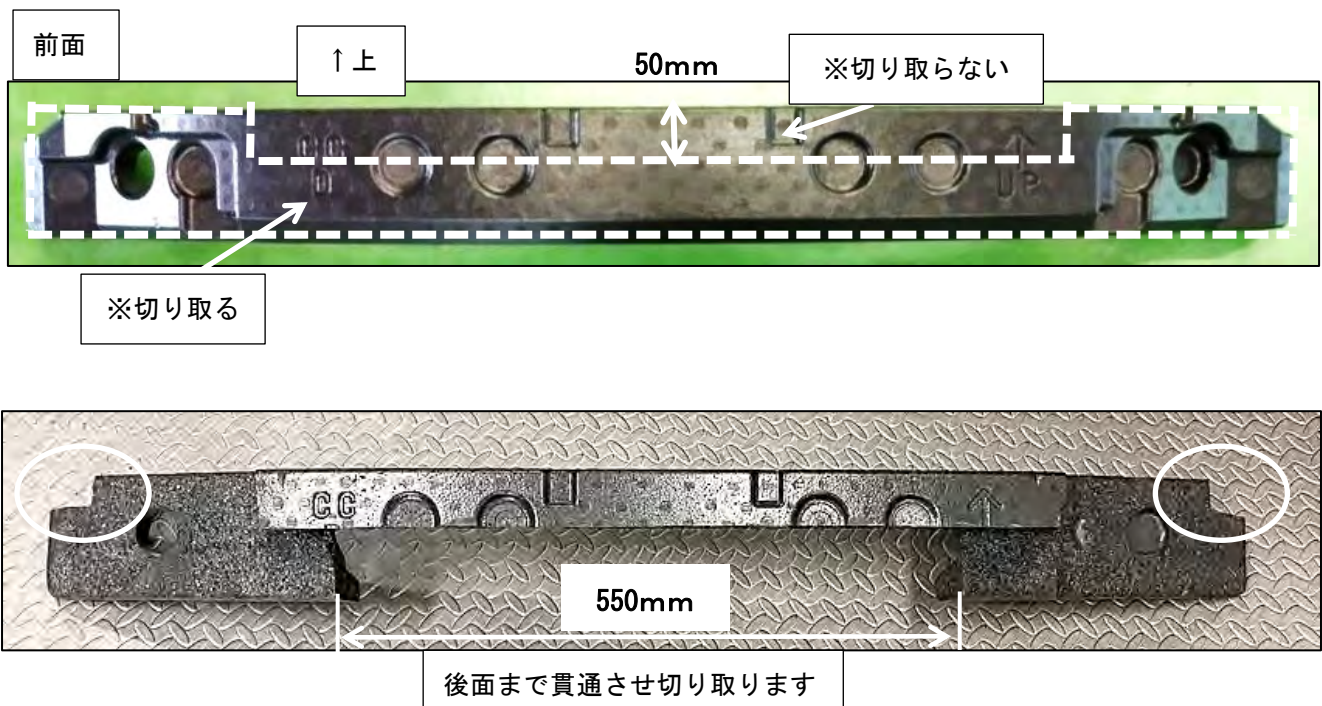
裏面は、突起部ができないよう、図のように切り落とします。

斜線部を切り取ります。



(3) 取り外したフロントバンパーエネルギーアブソーバーを点線に沿って切り取ります。





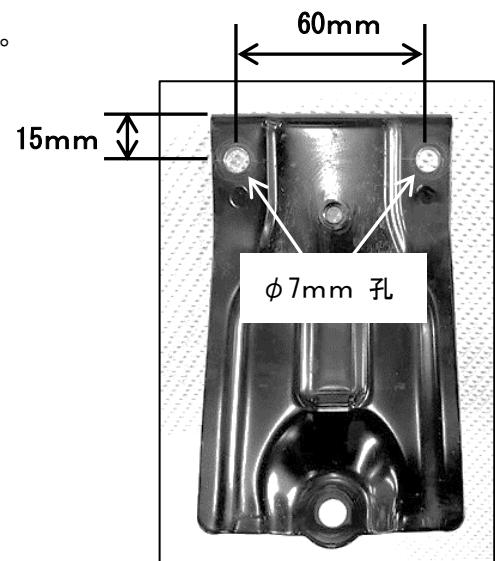
※○部 BRZ のみ

2-2 で加工したフロントバンパーリインフォースメントと同じように切除します。

- (4) フロントバンパーブラケットを右の写真のように追加加工します。
φ7 孔 2カ所

アドバイス

この加工はインタークーラーのブラケットを固定するためのものです。



- (5) ラジエーターサポートの右図の範囲をカットします。

アドバイス

インタークーラーパイプとの干渉を避けるための加工になります。13 項(2)の取付けの際に、パイプに干渉するようであれば、加工範囲を拡げてください。



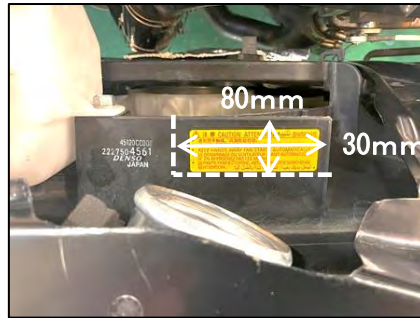
(6) 右図の箇所をカットします。

車両右側ファンシュラウド上部

車両左側ファンシュラウド上部

アドバイス

パイピングとの干渉を避けるための加工になります。



- (7) 左右の電動ファンハーネスのクランプを外し、引き出します。
遮熱テープを適切なサイズにカットし、電動ファンモーターのハーネスに巻き付けます。
車両右側の電動ファンハーネスは、左右の分岐点から、ファンコネクターまで、遮熱テープを巻きワイヤーで固定します。
車両左側の電動ファンハーネスは、コアサポートで隠れる部分まで、遮熱テープを巻きワイヤー固定します。
サーモチューブφ30を300mmに切断します。
ハーネス集合部を、切断したサーモチューブでまとめます。

P25: サーモチューブ φ30 L=500mm

P95: 遮熱テープ 70mm×1000mm

P96: 遮熱シール 300mm×300mm

アドバイス

サーモチューブは7項(5)でも使用するので、195mm残してください。

ワイヤーツイスタープライヤーを使用して、巻かれた遮熱テープをワイヤーで固定します。

- (8) ラジエーターリザーバタンク車両右側からタンク前方を通し、ファンシュラウド上部を通り、左右電動ファンにコネクターを接続します。
- (9) 遮熱シール及び、遮熱テープを適切なサイズにカットし、電動ファンモーターとラジエーターリザーバタンク上部、ファンシュラウドに貼り付けます。

P95: 遮熱テープ 70mm×1000mm

P96: 遮熱シール 300mm×300mm

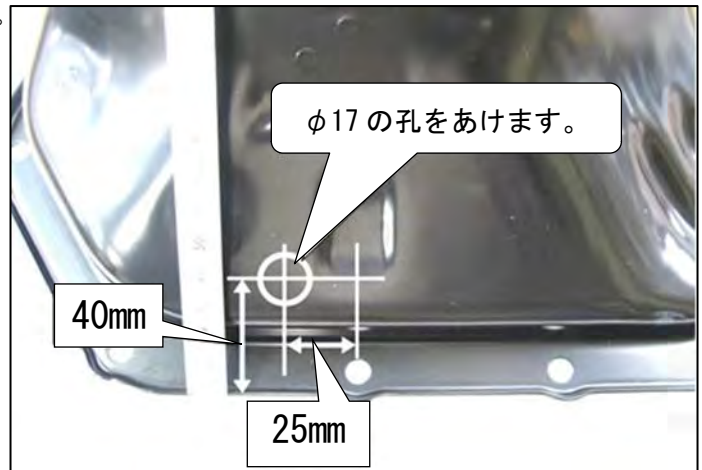


(10) 取り外したオイルパンにオイルリターンパイプを溶接します。

(11) 右図の位置に 17mm の孔を開けます。

アドバイス

規定でエッジからの距離を正確に測ります。



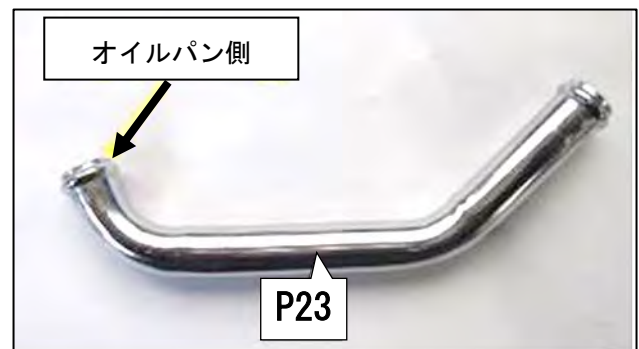
(12) オイルパンを仮付けし、付属のガスケットを使用して排気マニホールドも仮付けします。

P2: エキゾーストマニホールド

P32: ガスケット ×2

(13) オイルリターンパイプの設置位置を決め、印を付けるか、パイプを仮付けします。

P23: オイルリターンパイプ

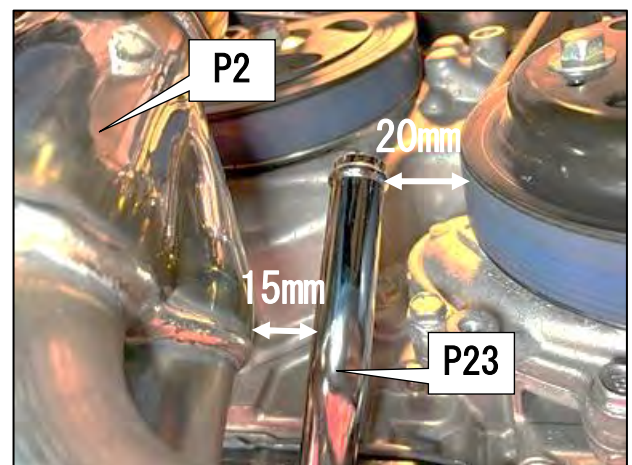


アドバイス

排気マニホールドとオイルリターンパイプの隙間が少なくとも 15mm あることを確認してください。
V ベルトとパイプの隙間は約 20mm、エンジン側ボルト間の隙間は約 70mm 確保してください。

右の写真を参照してください。

オイルリターンパイプをオイルパンに挿入する際は、パイプの端がストッパーに接触することを確認してください。



(14) 仮付けしたエキゾーストマニホールドを取り外します。

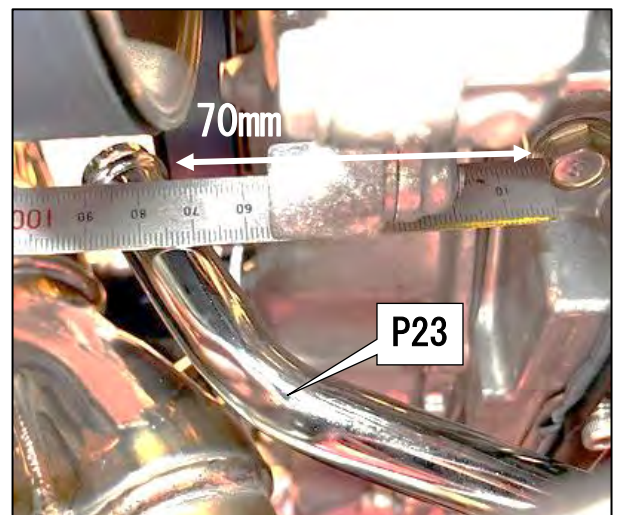
(15) オイルパンを取り外し、オイルリターンパイプをオイルパンに溶接してください。

アドバイス

パイプを徐々に溶接し、部品間の隙間を確認しながら溶接してください。

溶接前にサンドペーパーを使用してオイルパンの溶接部分の塗装を落とします。

溶接継ぎ目に漏れがないか注意深く確認してください。



(16) 溶接部に防錆塗装を施してください。塗布部が乾燥したら、部品を洗浄します。

アドバイス

エンジンの損傷を防ぐために、バリやスラッジなどの異物はすべて取り除いてください。

(17) オイルパンとエンジンの取付け面を清掃し、表面のオイルを除去します。

液体ガスケット 1217G を使用してオイルパンを取り付けます。

アドバイス

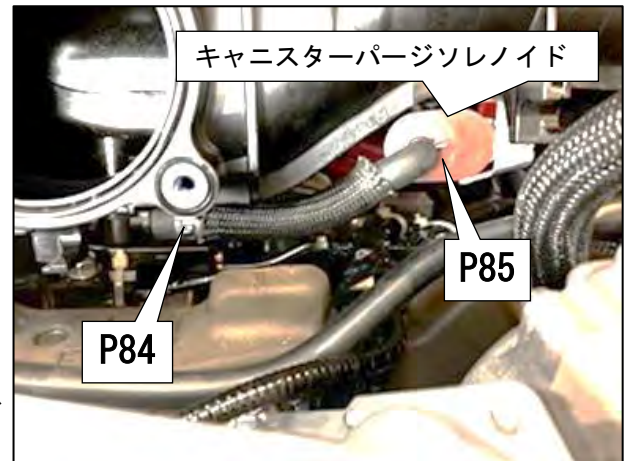
取付けボルト、ゴムパッキンは再使用します。

(18) A/C コンプレッサーの取付けボルトを取り外します。
コンプレッサーを少し移動して、吸気マニホールドの下側にアクセスするスペースを確保します。

アドバイス

エアコン配管は外さないでください。

(19) スロットルボディの取付けボルトを取り外します。
スロットルボディを少し移動して、吸気マニホールドの下にアクセスするスペースを確保します。



アドバイス

冷却水ホースは外さないでください。

(20) スロットルボディと A/C コンプレッサーを移動すると、パージソレノイドとホースが見えます。
上図のように、キャニスターパージソレノイドから、インテークマニホールド間のホースにクランプを取り付けます。

P84: ホースクランプ 刻印 130

P85: ホースクランプ 刻印 115

アドバイス

インテークマニホールド下部の樹脂ニップルを損傷する恐れがあるため、インテークマニホールド側のホースは取り外さないでください。ソレノイド側のホースのみ取り外します。

ホースの保護プロテクターを一時的に取り外します。

P84 クリップをインテークマニホールド側にスライドさせて取り付けます。

※上記画像は、インテークマニホールドの取付けボルトを外し、インテークマニホールドを浮かせていますが、できるだけインテークマニホールドを外さずに行ってください。

インテークマニホールドを浮かせる場合はポート側のインジェクターコネクターを外します。

3つの燃料ラインコネクターを外します。

インテークマニホールドには6カ所の取付けボルトがあります。

(21) スロットルボディを取り付けます。

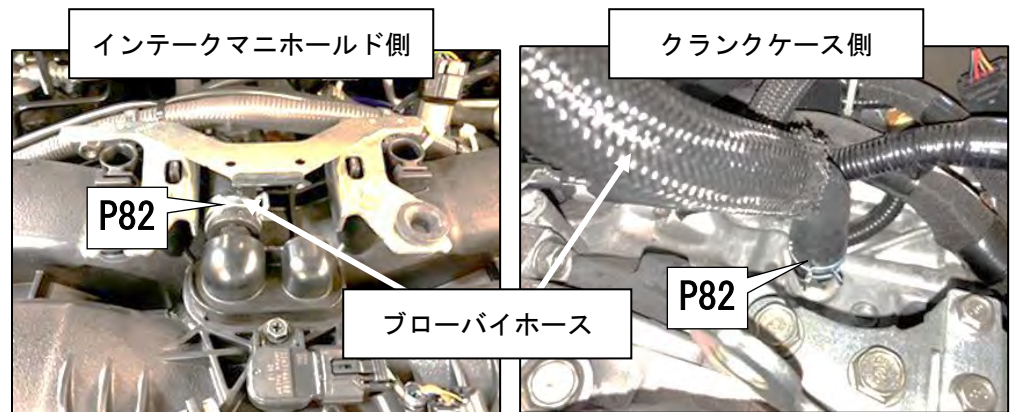
アドバイス

A/C コンプレッサーはまだ取り付けないでください。

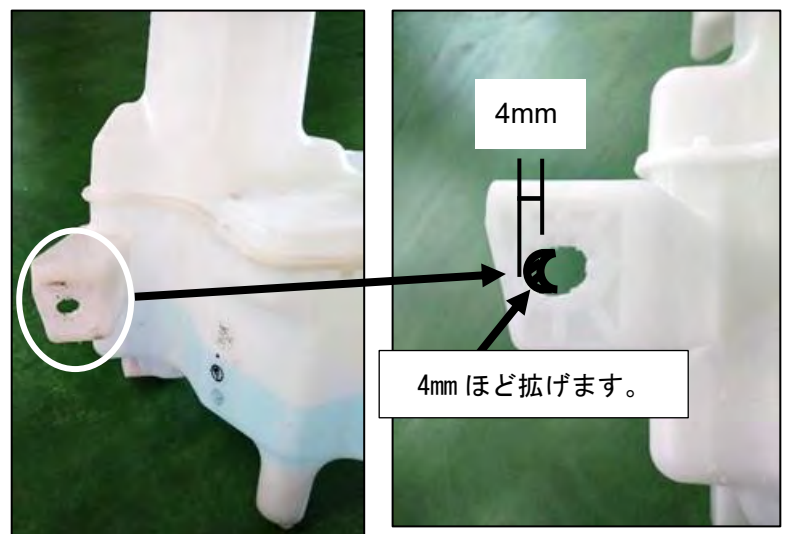
ターボチャージャー冷却ホース接続の際に、A/C コンプレッサーを外した状態で作業します。

(22) ブローバイホースにホースクランプを取り付けます。

P82: ホースクランプ 刻印 230 × 2



(23) 1-(12) で取り外したウォッシャー
タンクの取り付け穴を拡大します。



3.オイルインレットの取付け

※異物の侵入を防ぐため、取付け前に各部品をエアブローしてください。

パーツリスト

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P13	オイルインレットホース	1	
P14	オイルインレットバンジョウ	1	
P17	チーズ PT1/8	1	
P18	ニップルヘキサゴン	1	
P19	ニップルオイルライン	1	
P20	サーモチューブ φ16	1	

- (1) エンジンブロックからオイルプレッシャースイッチを取り外します。
- (2) チーズにニップルヘキサゴンとニップルオイルラインを取付けます。PT ネジ部には脱脂後スリーボンド 1324 を薄く塗布します。

P17: チーズ PT1/8

P18: ニップルヘキサゴン

P19: ニップルオイルライン



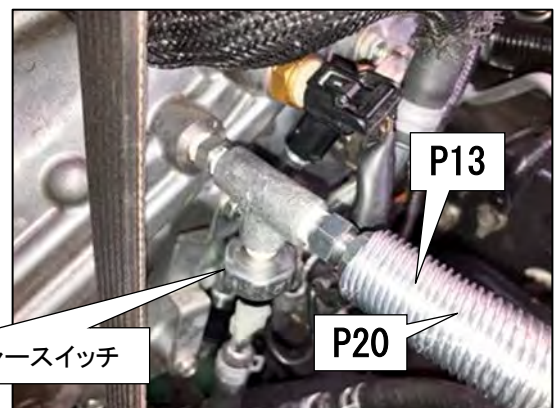
注 意

●PT ネジの締め過ぎは、相手部品の損傷に繋がるので、締め過ぎに注意してください。

●オイルラインが目詰まりしない様、スリーボンド 1324 はオイル流路にはみ出さない様に塗布してください。

- (3) (2) で組み立てた部品の PT ネジ部を脱脂してスリーボンド 1324 を薄く塗布し、エンジンに取り付けます。
- (4) (1) で外したオイルプレッシャースイッチの PT ネジ部を脱脂してスリーボンド 1324 を薄く塗布し取り付けます。

オイルプレッシャースイッチ



(5) オイルインレットホースを取り付けます。

P13: オイルインレットホース

(6) サーマチューブφ16 を 450mm に切断し、ホースに被せます。

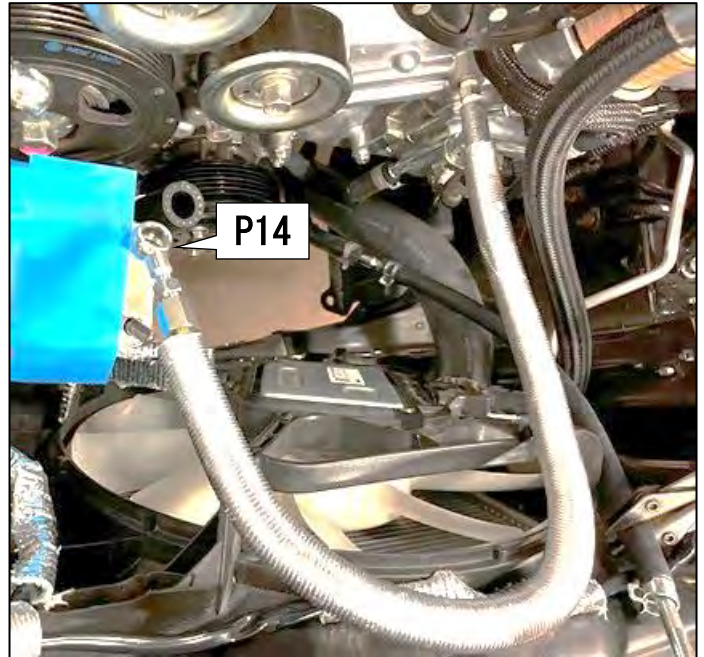
P20: サーマチューブφ16

(7) オイルインレットバンジョウを仮付けします。

P14: オイルインレットバンジョウ

アドバイス

ターボチャージャー取付け後に本締めします。



注 意

- オイルライン組立ての際、シールテープは使用しないでください。また、液状ガスケットの使用は最小限にしてください。ターボチャージャーのオイルラインを塞いだ場合、ターボチャージャーを破損させる恐れがあります。
- オイルインレットホースを固定するときは、オイルインレットホースのカシメ部分がきつく曲げられた状態や、無理な力が加わらないように固定してください。
きつく曲げられた状態、無理な力が加えられた状態、また、エンジン振動などで繰り返し曲げが加わる状態で使用し続けると、オイルインレットホースが破損してオイルが漏れ、最悪の場合車両火災が起きる恐れがあります。

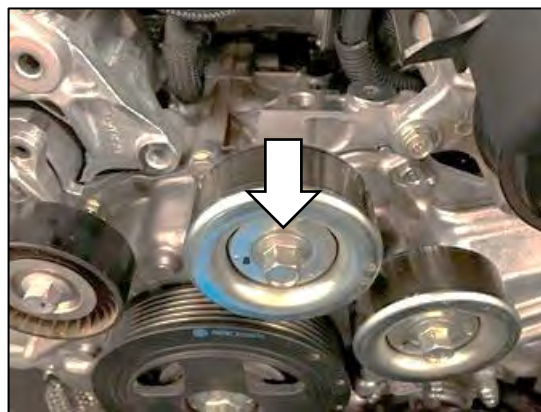
4. ターボチャージャーブラケットの取付け

パーツリスト			
P8  P9  P10 	No.	品名	数量
	P8	ターボチャージャーブラケット No. 1	1
	P9	スペーサー φ20 段付き	1
	P10	スペーサー φ20	1
	P60	フランジボルト M10 L50 7 マーク	2
	P65	フランジボルト M6 L10	1

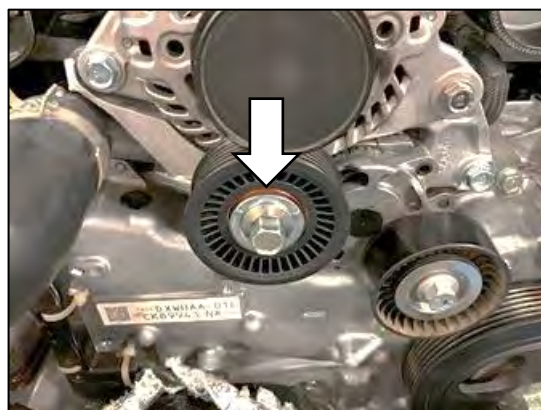
- (1) ベルトテンショナーのボルトに工具をかけ、
ベルトを緩め、3mm のアレンキー等で固定します。



- (2) アイドラプーリーNo. 1 を取り外します。
アイドラプーリーカバーとワッシャーは再使用します。



- (3) アイドラプーリーNo. 2 を取り外します。
アイドラプーリーカバーとワッシャーは再使用します。



- (4) ターボチャージャーブラケット No. 1、
スペーサー、アイドラプーリーカバー
(純正再使用) とアイドラプーリーを
M10 ボルトで組付ける

P8: ターボチャージャーブラケット No. 1

P9: スペーサー φ20 段付き

P10: スペーサー φ20

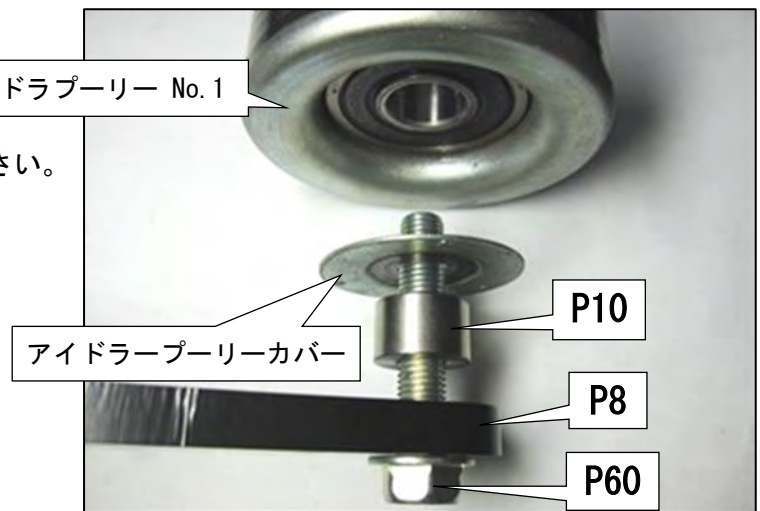
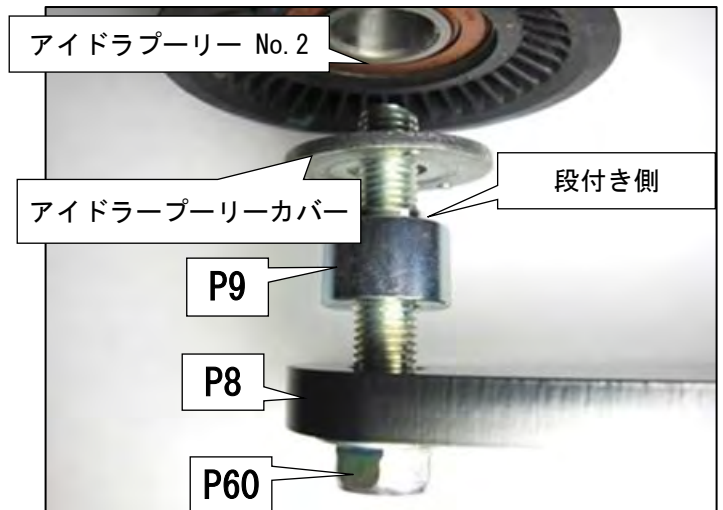
P60: フランジボルト M10 L50 7 マーク

締付トルク N・m (kgf・m)

M10 : T=36 (3.7)

アドバイス

スペーサーの段付きの向きに注意してください。
ベルトを通し忘れないようにしてください。



- (5) 右図の位置にフランジボルト M6 L10 を仮付けします。

P65: フランジボルト M6 L10

アドバイス

9 項 (22) でインシュレーターを取り付けるためのボルトです。
ターボチャージャー Assy 取付け後、ボルトが入らないので、
先に仮付けしておきます。



- (6) A/C コンプレッサーは、ターボチャージャーの
水配管取り回し後に取り付けますので、ベルトはまだ
張らないでください。
取付け完了後のイメージは右図のとおりです。



5. エキゾーストマニホールドの取付け

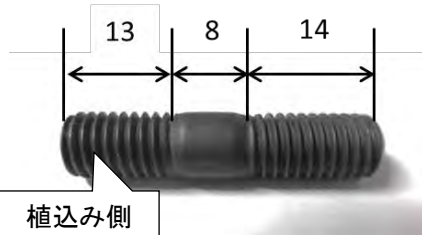
パーツリスト

No.	品名	数量
P2	エキゾーストマニホールド	1
P11	ターボチャージャーブラケット No. 2	1
P32	ガスケット	2
P40	エクステンションブラケット	1
P50	ホースバンド #28	2
P55	インシュレーター φ50 用 L100mm	1
P56	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1	1
P57	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2	1
P58	スタッドボルト M8 13-8-14	4
P68	六角ボルト M8 L15	4
P74	M6 フランジナット	2
P79	プレーンワッシャー M8 φ15	4
P95	遮熱テープ 70mm×1000mm	1
P96	遮熱シート 300mm×300mm	1
P97	M6 キャップボルト L15	2
P98	M6 ワッシャー	2

- (1) エキゾーストマニホールドにスタッドボルトを取り付けます。

P2 : エキゾーストマニホールド

P58: スタッドボルト M8 13-8-14 ×4



- (2) エキゾーストマニホールドにインシュレーターを取り付けます。

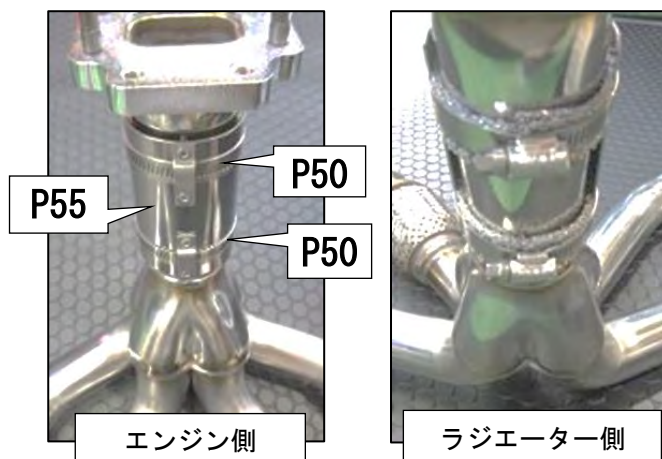
P50: ホースバンド #28 ×2

P55: インシュレーター φ50 用 L100mm

アドバイス

エンジン側にインシュレーターを向けます。

SUS メッシュの上からホースバンドで取り付けます。



- (3) 遮熱シートを適度な大きさに切ります。
ラジエーターアウトレットホースに巻いて、
ワイヤー等で固定します。

P96: 遮熱シート 300mm×300mm

アドバイス

エキゾーストマニホールドの近傍に遮熱対策
をしてください。



- (4) ガasketを介してエキゾーストマニホールド
を純正ナットで仮付けします。
エクステンションブラケットはフランジと
共締めします。

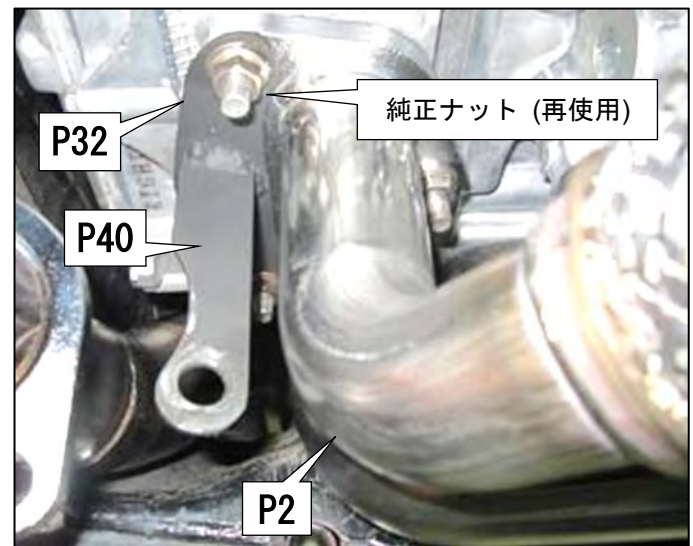
P2: エキゾーストマニホールド

P32: ガasket ×2

P40: エクステンションブラケット

アドバイス

エクステンションパイプを取付け後に
本締めします。



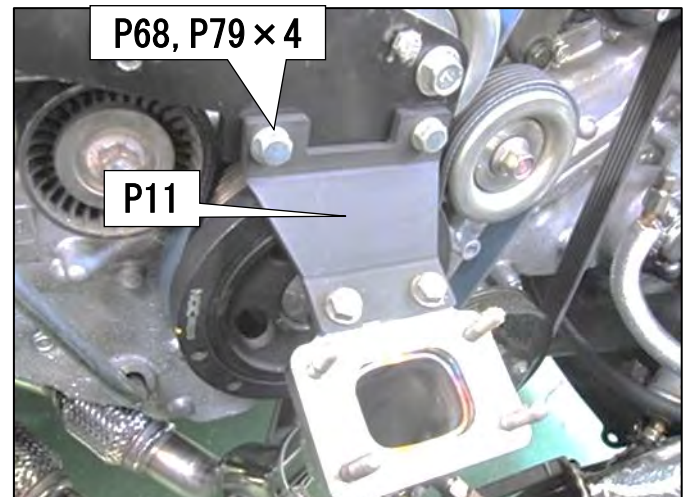
- (5) タービン側フランジにターボチャージャー
ブラケット No. 2 を仮付けします。

P11: ターボチャージャーブラケット No. 2

P68: 六角ボルト M8 L15 ×4

P79: プレーンワッシャー M8 ×4

- (6) エキゾーストマニホールド、ターボチャージャー
ブラケット No. 2 の位置を決めながら
本締めします。



アドバイス

ガasketをエキゾーストマニホールドのタービン側フランジに組付け、ターボチャージャー
ブラケット No. 2 と干渉のないことを確認してください。

(7) オイルレベルゲージパイプを加工するため、取り外します。

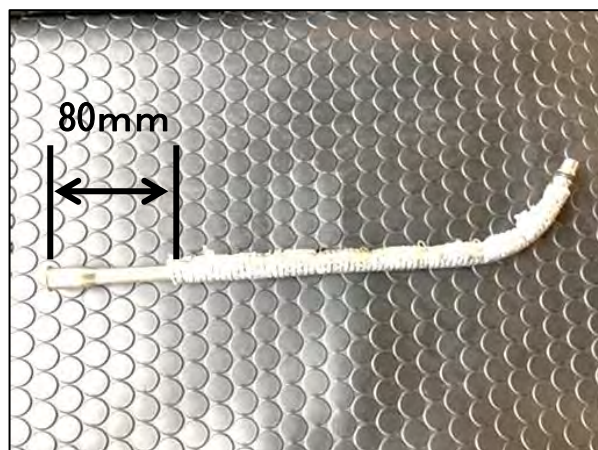
(8) オイルレベルゲージパイプの取付けブラケットを切断します。切断面を防錆処理してください。パイプの内部に切削粉や異物が無いことを確認してください。



(9) オイルレベルゲージに遮熱テープを巻き、ワイヤーで固定します。

上部 80mmは巻かないでください。

P95 遮熱テープ 70mm×1000mm



(10) オイルレベルゲージをエンジンに取り付けます。

(11) オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1 をオルタネーターカバーに共締めします。

純正ボルトを使用します。

P56 : オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1

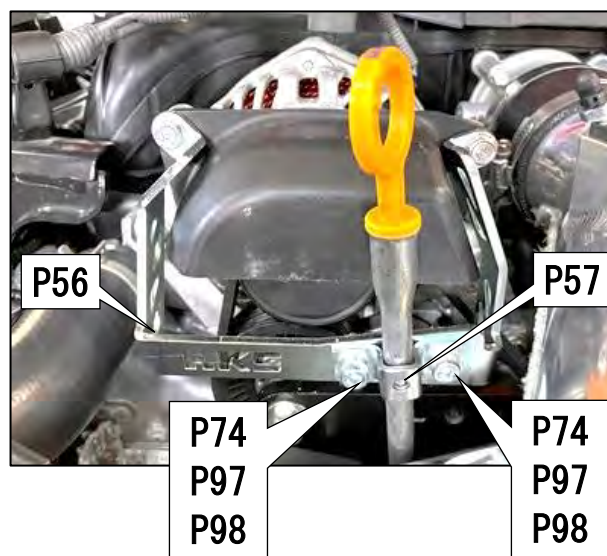
(12) オイルレベルゲージを、オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2 で固定します。

P57 : オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2

P74 : M6 フランジナット ×2

P97 : M6 キャップボルト L15 ×2

P98 : M6 ワッシャー ×2



(13) オイルレベルゲージが、エンジンに正しく挿入されていることを確認してください。

6. ターボチャージャーの組立て

※取付け前に各部品をエアブローし、異物混入を防止してください。

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P1	ターボチャージャーAssy	1	
P21	オイルアウトレットパイプ	1	
P22	ガスケット	1	
P59	スタッドボルト M8 7-10-14	5	
P64	フランジボルト M6 L15	2	

- (1) ターボチャージャーAssy にガスケットを介し
オイルアウトレットパイプを取り付けます。

P1 : ターボチャージャーAssy

P21 : オイルアウトレットパイプ

P22 : ガスケット

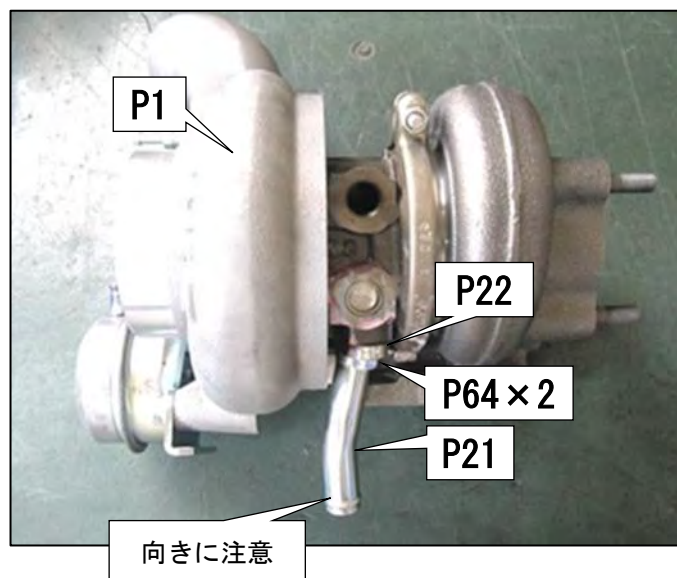
P64 : フランジボルト M6 L15 ×2

アドバイス

オイルアウトレットパイプの向きに注意して
ください。

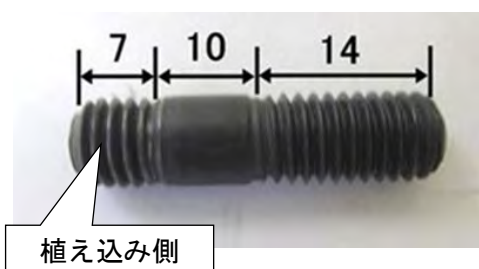
締付トルク N・m (kgf・m)

M6 : T=8.5~10 (0.8~1.0)



- (2) ターボチャージャーAssy にスタッドボルトを
取り付けます。

P59 スタッドボルト M8 7-10-14 ×5



7. ターボチャージャーとオイルリターンホースの取付け

※取付け前に各部品をエアブローし、異物混入を防止してください。

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P24	ホース φ16	1	
P25	サーモチューブ φ30	1	
P33	ガスケット	1	
P77	ロックナット M8	4	
P82	ホースクランプ 刻印 230	2	

- (1) ホースφ16 を 195mm に切断します。

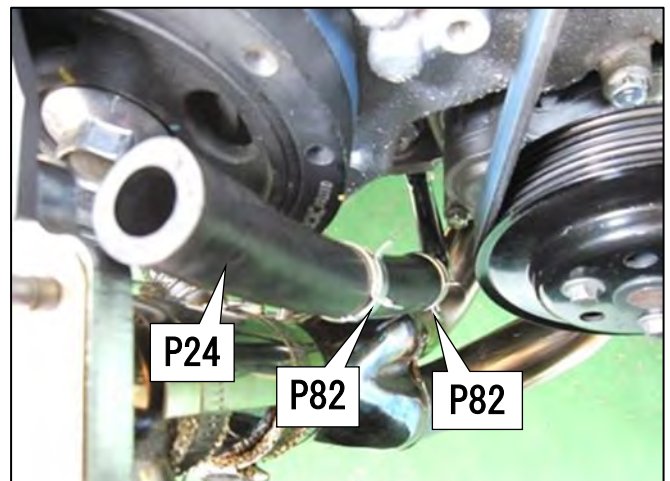
P24 : ホースφ16

- (2) 2 項(16) で取り付けたオイルリターンパイプに
(1) で加工したホースφ16 を取り付けます。
ホースクランプ刻印 230 を取り付けます。

P82 : ホースクランプ 刻印 230 ×2

アドバイス

ターボチャージャーAssy 側のホースクランプは仮付けしてください。



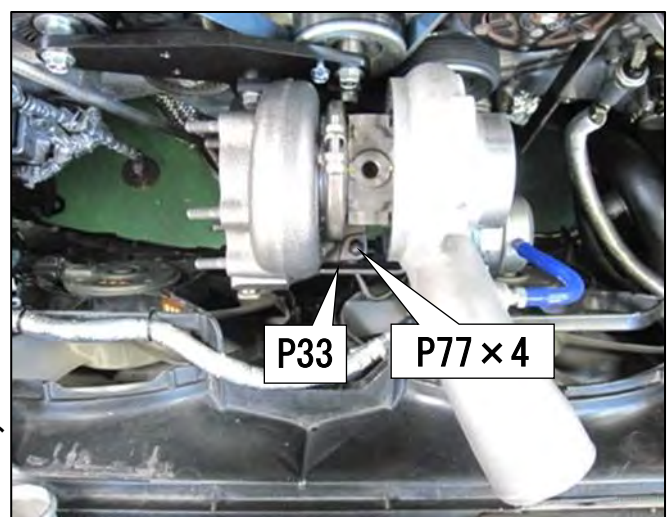
- (3) 6. で組立てたターボチャージャーAssy を
ガスケットを介しエキゾーストマニホールドに
取り付け、ロックナットで締付けます。

P33 : ガスケット

P77 : ロックナット M8 ×4

アドバイス

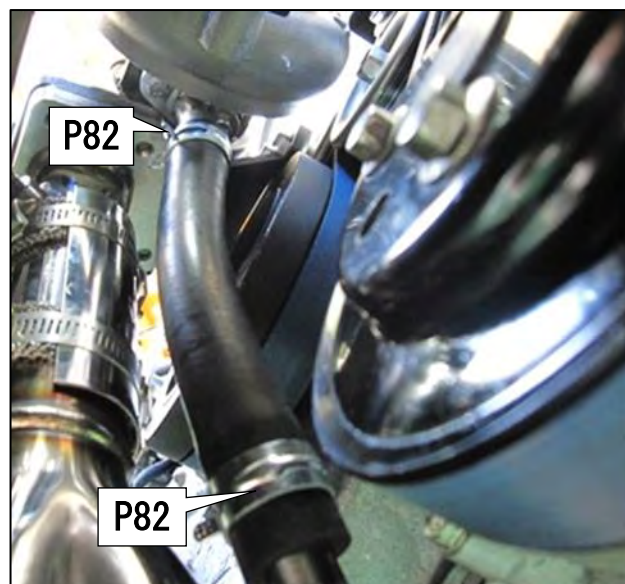
ターボチャージャーをロックナットで締付ける際、
エキマニフランジ面と、ターボチャージャー
フランジ面に隙間がないか確認してください。



- (4) (2) で取り付けしたホースφ16 をターボチャージャー Assy のオイルアウトレットパイプに取り付け、ホースクランプ 刻印 230 を取り付けます。

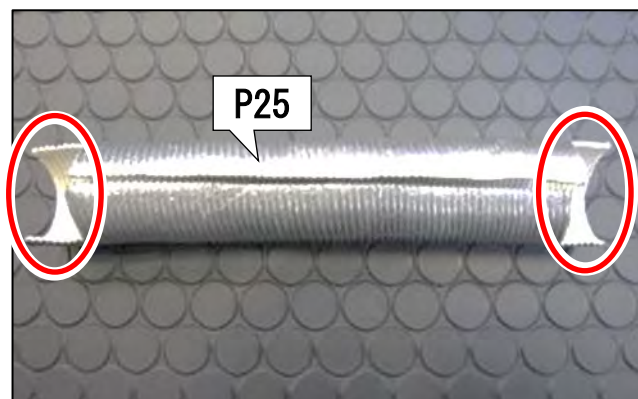
アドバイス

ホースとエキマニ、プーリー、ベルトが干渉しない様に取り付けます。



- (5) 2-(7) で使用したサーモチューブ φ30 の余りを 195mm に切断し、ホースクランプの爪部分の逃げ加工します。

P25 サーモチューブ φ30 L=500mm



- (6) (5) で加工したサーモチューブをホースに被せ、ワイヤー等で固定します。

アドバイス

ホースとエキマニ、プーリー、ベルトが干渉しない様に取り付けます。



8. エクステンションパイプの取付け

パーツリスト

P12

P46

P34

P35

P77

P95

P96

No.	品名	数量
P3	エクステンションパイプ	1
P12	ターボチャージャーブラケット No. 3	1
P34	ガスケット	1
P35	ガスケット	1
P46	ハーネスブラケット	1
P65	M6 フランジボルト L=10	1
P66	M10 六角ボルト L40	2
P68	M8 六角ボルト L15	4
P75	M10 六角ナット	2
P77	M8 ロックナット	5
P78	M10 プレーンワッシャー	4
P79	M8 プレーンワッシャー φ15	4
P93	タイラップ小	任意
P95	遮熱テープ 70mm×1000mm	1
P96	遮熱シート 300mm×300mm	1

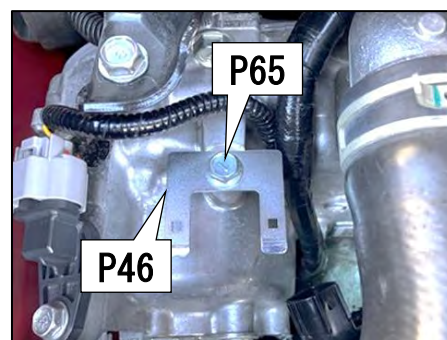
- (1) 矢印部の樹脂カバーに差し込まれている、O2 センサーコネクタ、空燃比センサーコネクタを外します。
ハーネスを固定しているタイラップを切断し、
取付けボルトを取り外し、樹脂カバーを取り外します。



- (2) 外した樹脂カバーが取り付けられていた M6 ネジ穴に
ハーネスブラケットを取り付けます。

P46 : ハーネスブラケット

P65 : M6 フランジボルト L=10



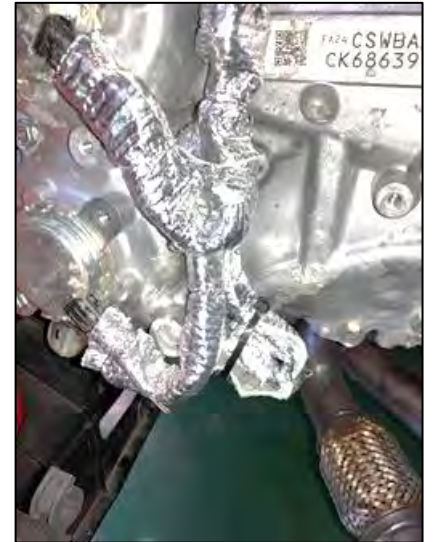
- (3) カムセンサー、O2 センサー、空燃比センサーのハーネスをまとめているビニールテープを取り外し、O2 センサー・空燃比センサーコネクタを(2)で取り付けしたブラケットに差し込みます。



- (4) カムポジションセンサー、カムシャフトタイミングオイルコントロールバルブのハーネスに、遮熱テープ、遮熱シートを巻いて、ワイヤーで固定します。

P95: 遮熱テープ 70mm×1000mm

P96: 遮熱シート 300mm×300mm



- (5) 純正エキゾーストマニホールドから、O2 センサー、空燃比センサーを取り外し、本キットのエクステンションパイプに取り付けます。

灰色コネクター：空燃比センサー エクステンションパイプ上流側ボスへ

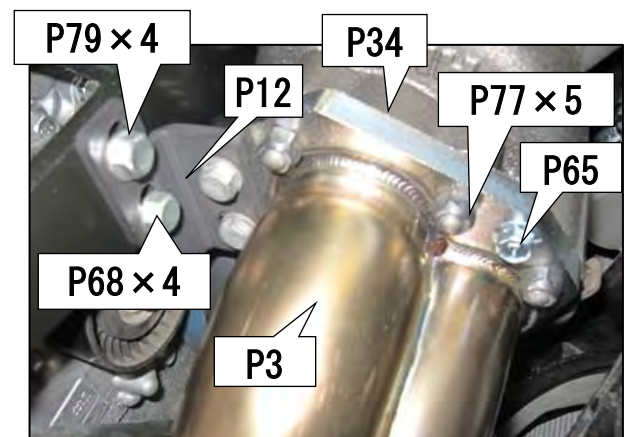
黒色コネクター：O2 センサー エクステンションパイプ下流側ボスへ

- (6) タービンにガスケットを介してエクステンションパイプを取付け、ロックナットを仮付けします。

P3：エクステンションパイプ

P34：ガスケット

P77：M8 ロックナット ×5



- (7) ターボチャージャーブラケット No. 3 を仮付けします。

P12：ターボチャージャーブラケット No. 3

P65：M6 フランジボルト L=10

P68：M8 六角ボルト L=15 ×4

P79：M8 プレーンワッシャー ×4

アドバイス

P65：フランジボルト M6 L=10 は後の作業でのインシュレーター取付け用に仮止めします。

- (8) エクステンションパイプのフロントパイプ側に、ガスケットを介してジョイントパイプを仮付けします。この際、5-(4)で取付けたエクステンションブラケットを共締めしてください。

P35 : ガスケット

P66 : M10 六角ボルト L=40 ×2

P75 : M10 六角ナット ×2

P78 : M10 プレーンワッシャー ×4

- (9) 5 項で仮付けしていたエキゾーストマニホールドの取付けナットを本締めします。

(6)～(8)で仮締めしてあった M8、M10 のボルト、ナットを本締めします。

エキゾーストマニホールドナット

締付トルク N・m (kgf・m)

T=65 (6.6)

- (10) 空燃比センサー、O₂ センサーに取付けカプラーを接続します。



9. ターボチャージャーインシュレーター部品等の取付け

パーツリスト

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P15	M12 バンジョウボルト P1. 25	1	
P16	銅ワッシャー φ17×φ12	2	
P26	ウォーターラインバンジョウ No. 1	1	
P27	ウォーターラインバンジョウ No. 2	1	
P28	M14 バンジョウボルト	2	
P29	銅ワッシャー φ20×φ14	4	
P30	φ8 ホース L=550mm	1	
P31	ジョイントパイプφ8-φ10	2	
P53	ターボチャージャーインシュレーター No. 1	1	
P54	ターボチャージャーインシュレーター No. 2	1	
P65	M6 フランジボルト L10	4	
P84	ホースクランプ刻印 130	4	
P89	コルゲートチューブφ15	1	
P91	タイラップ 大	2	
P92	タイラップ 中	5	
P94	スポンジシート	1	
P96	遮熱シート 300mm×300mm	1	

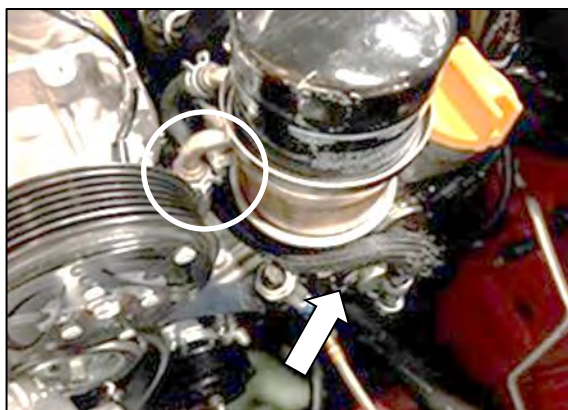
- (1) 2 項 (20) で固定せずに仮置きしている A/C コンプレッサーを再び浮かせて、コンプレッサー下のホースの純正クリップのツメを横方向に回します。



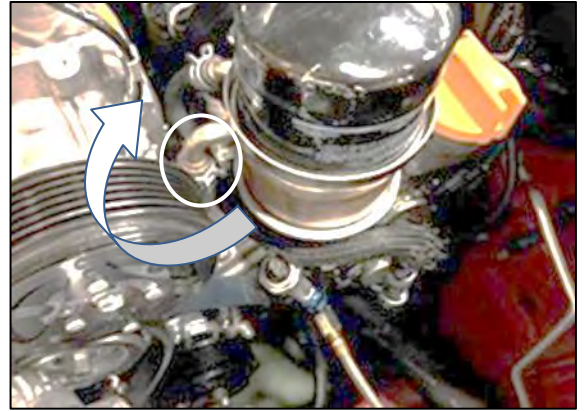
- (2) 取り外したホースから水が漏れないように、冷却水を排出するか、ホースに止水クランプを取り付けます。
※以下の作業においても同様になります。

- (3) 純正オイルクーラーに接続されているホースの下端を取り外します。

※○部の車両前側のホースの下端のみ



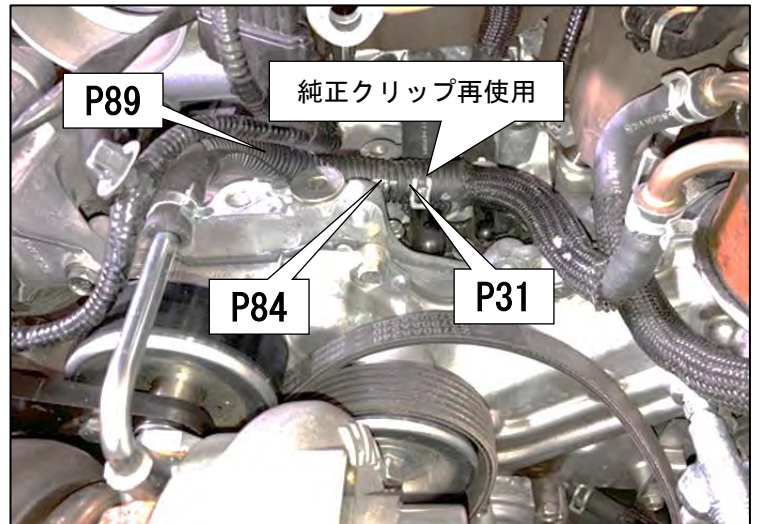
- (4) O部クリップを緩めてホースを 180 度回転させ、(3) で取り外したホースが A/C コンプレッサーの下を通るようにします。



- (5) 右図のようなホースレイアウトにします。
純正ホースに、 $\phi 8$ - $\phi 10$ ジョイントパイプを使用して、 $\phi 8$ ホースを接続します。

アドバイス

接続するクリップの爪の向きは横にしてください。



P30 : ホース $\phi 8$ L=550mm

P31 : ジョイントパイプ $\phi 8$ - $\phi 10$

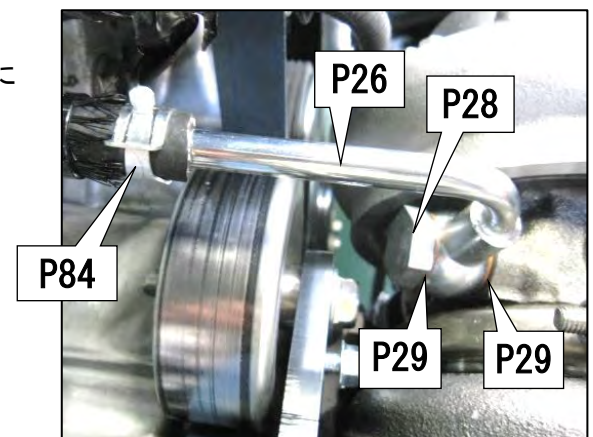
P84 : ホースクランプ刻印 130

- (6) 付属の M14 バンジョウボルトと銅ワッシャーを使用して、ウォーターラインバンジョウ No. 1 をターボチャージャーに取り付けます。

P26 : ウォーターラインバンジョウ No. 1

P28 : M14 バンジョウボルト

P29 : 銅ワッシャー $\phi 20 \times \phi 14 \times t2$



締め付けトルク : N・m (kgf・m)

M14 : T= 33~41 (3.4~4.2)

- (7) $\phi 8$ ホースを適切な長さに切断し、ウォーターラインバンジョウ No. 1 に接続します。(約 180mm)

P84 : ホースクランプ刻印 130

- (8) コルゲートチューブ $\phi 15$ を 170mm にカットします。
コルゲートチューブ ($\phi 15$) を純正ホースプロテクターの端から、 $\phi 8$ ホースに巻き付けます。
ジョイントとホースが、A/C コンプレッサーに直接干渉しないことを確認してください。

P89 : コルゲートチューブ $\phi 15$

(9) ホースに干渉しないことを確認しながら A/C コンプレッサーを取り付けます。ベルトが全てのプーリーにかかっている事を確認し、ベルトテンショナーを固定しているアレンキーを外し、ベルトを元の状態に戻します。

(10) 付属の M14 バンジョウボルトと銅ワッシャーを使用して、ウォーターラインバンジョウ No. 2 をターボチャージャーに取り付けます。

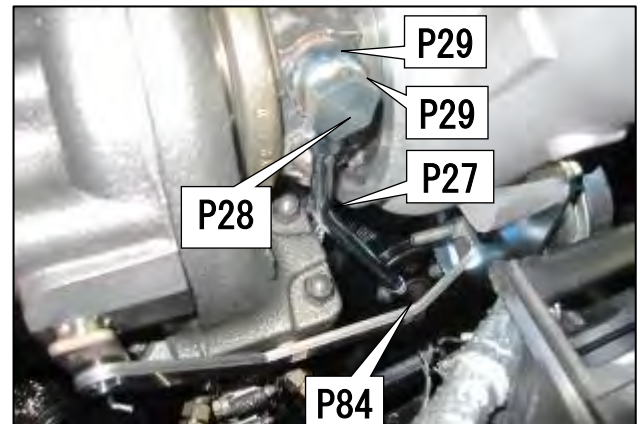
P27 : ウォーターラインバンジョウ No. 2

P28 : M14 バンジョウボルト

P29 : 銅ワッシャー $\phi 20 \times \phi 14 \times t2$

締め付けトルク : N・m (kgf・m)

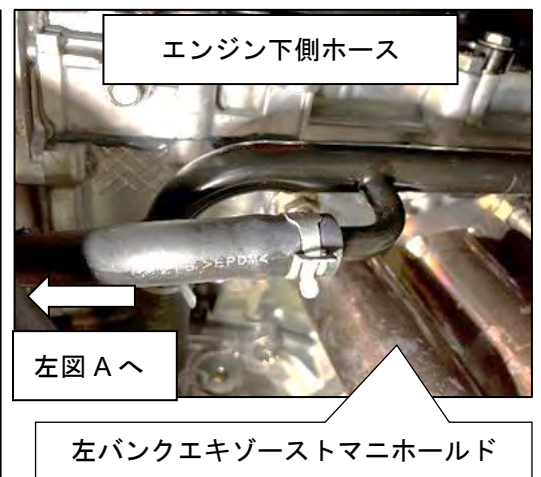
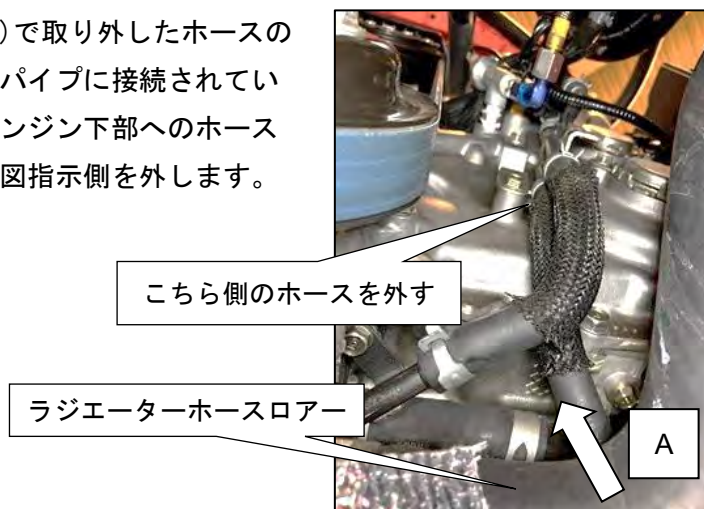
M14 : T= 33-41 (3.4-4.2)



(11) 付属の $\phi 8$ ホースを約 340mm の長さに切断し、ウォーターラインバンジョウ No. 2 に接続します。

P84 : ホースクランプ刻印 130

(12) 9-(3) で取り外したホースの純正パイプに接続されているエンジン下部へのホースの右図指示側を外します。



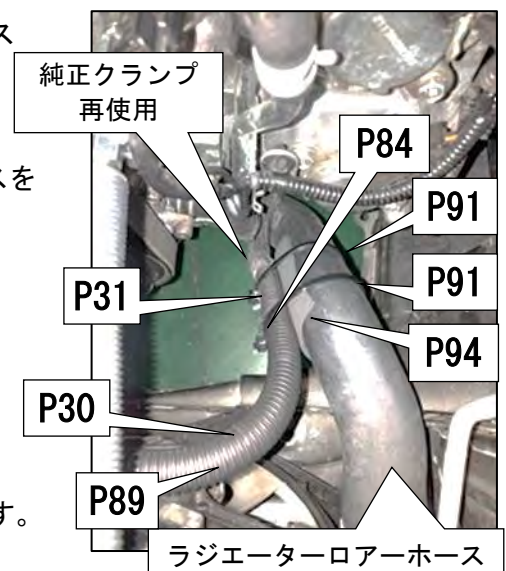
(13) ジョイントパイプ $\phi 8$ - $\phi 10$ を使用して、(12) で外した純正ホースに $\phi 8$ ホースを接続します。

(14) 右の写真に示すように、付属のホースクランプ刻印 130 でホースを固定します。

P30 : $\phi 8$ ホース L=550mm

P31 : ジョイントパイプ $\phi 8$ - $\phi 10$

P84 : ホースクランプ刻印 130



(15) コルゲートチューブ $\phi 15$ を 300mm に切断し、ホースを保護します。

P89 : コルゲートチューブ $\phi 15$

(16) スポンジシートをラジエーター下部ホースに貼り付け、付属のタイラップLでホースを固定します。

P91 : タイラップ 大 ×2

P94 : スポンジシート

(17) ターボチャージャー付近のホース、パイプ部分に遮熱シートを貼り付けます。

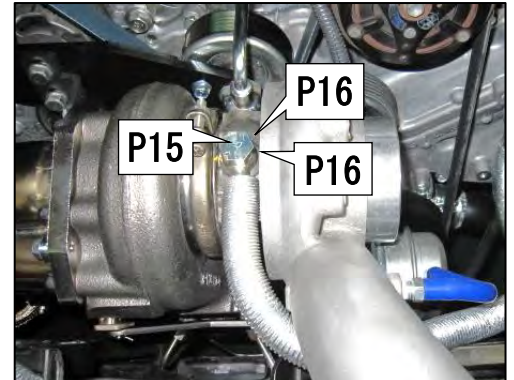
P96 : 遮熱シート 300mm×300mm



(18) 右図のようにオイルインレットホースをレイアウトし、付属の M12 バンジョウボルトと銅ワッシャーを使用して、オイルインレットバンジョウをターボチャージャーに仮付けします。

P15 : M12 バンジョウボルト

P16 : 銅ワッシャー φ17×φ12×2

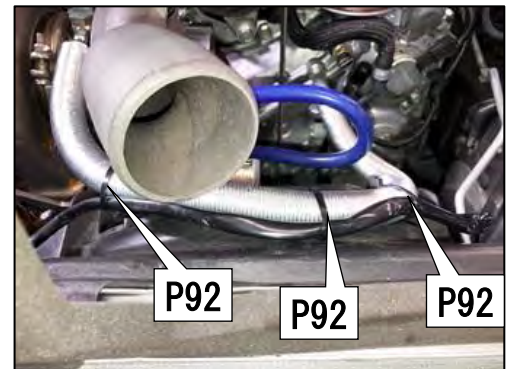


(19) 干渉、引張りがないことを確認し、仮締めしていたオイルインレットバンジョウとオイルインレットオイルホース、および、M12 バンジョウボルトを締め付けます。

締め付けトルク : N・m (kgf・m)

M12 : T= 17-23 (1.8-2.4)

(20) 左側のファンモーターハーネスをオイルホースにタイラップで固定し、ハーネスがファンに引っかからないようにします。

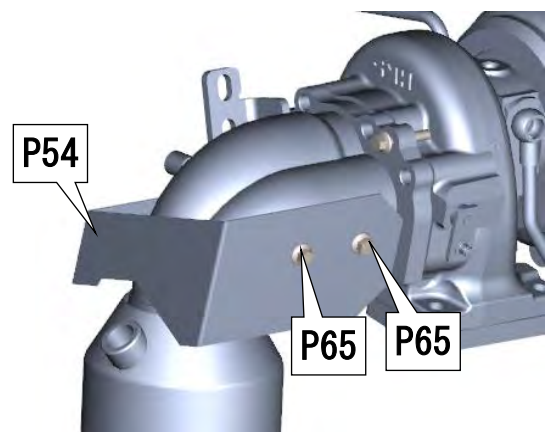
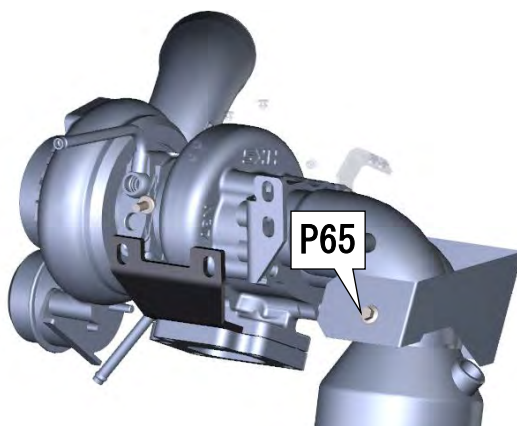


P92 : タイラップ 中 ×3

(21) インシュレーターNo. 2 を取付けます。

P54 : ターボチャージャーインシュレーターNo. 2

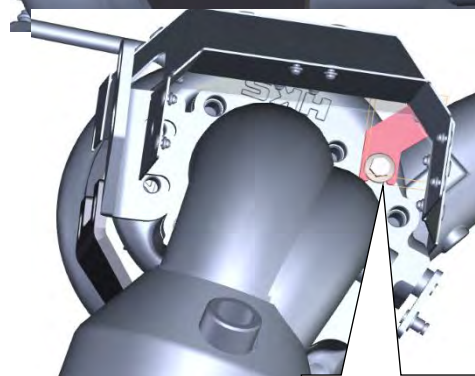
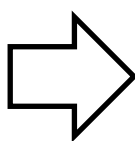
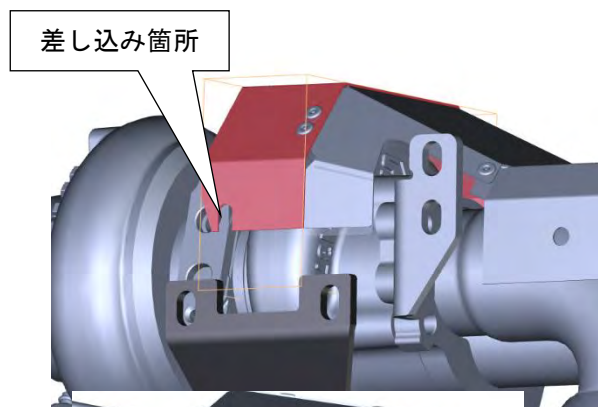
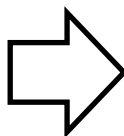
P65 : フランジボルト M6 L10 ×3



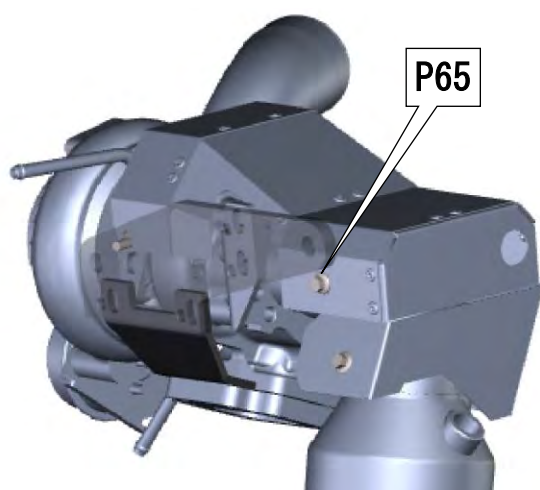
(22) 4 項 (5) と、8 項 (7) で取り付けけた M6 フランジボルトにインシュレーターを差し込み締め付けます。

P53 : ターボチャージャーインシュレーターNo. 1

P65 : フランジボルト M6 L10



差し込み箇所



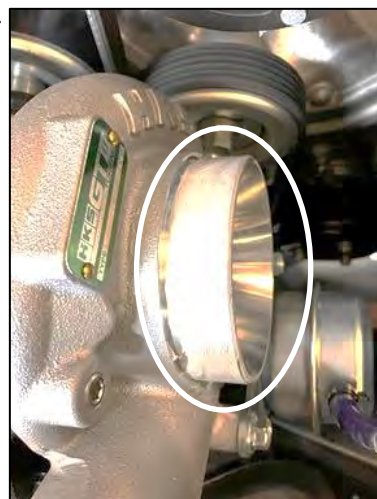
10. エアクリナー、サクションパイプの取付け

パーツリスト

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P4	サクションパイプ φ80	1	
P41	スーパーパワーフロー	1	
P42	シリコンホース φ80	2	
P47	ホースバンド #52	4	
P51	ホース φ12 L=200mm	1	
P52	ジョイントパイプ φ12	1	
P83	ホースクランプ 刻印 180	2	
P90	コルゲートチューブ φ22	1	

- (1) ブローバイ過多の車両においては、液化したものが、シリコンホース内面に付着し、サクションホースが抜けやすくなる場合があります。

コンプレッサハウジングのサクションホース取付け部にオイルパン取付けに使用した液体ガスケット 1217G を薄く塗布します。



注 意

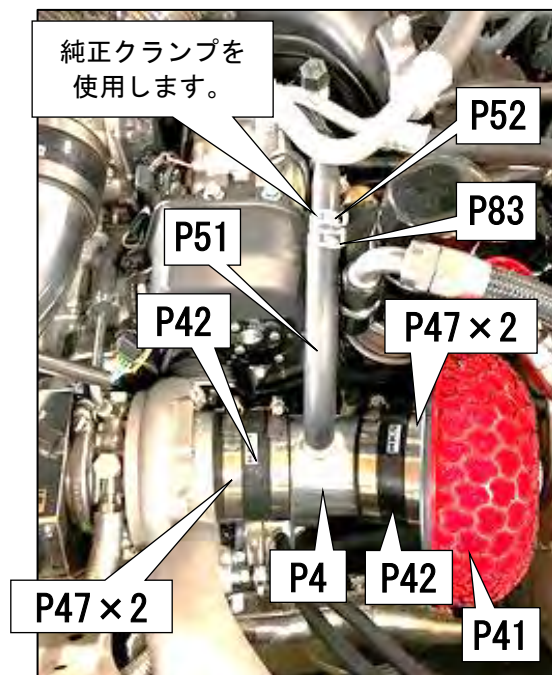
- 液体ガスケットを、シリコンホース側に塗布すると、シリコンホースをコンプレッサハウジングに取付ける際に、液体ガスケットが空気流路にはみ出し、ターボ側に混入する恐れがあるため、必ずコンプレッサハウジング側に液体ガスケットを塗布してください。

- (2) スーパーパワーフローとサクションパイプを取り付けます。

P4 : サクションパイプφ80
P41 : スーパーパワーフロー
P42 : シリコンホースφ80 x 2
P47 : ホースバンド #52 x 4

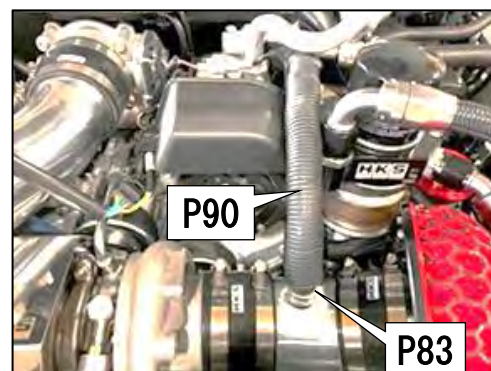
- (3) ブローバイホースを A/C コンプレッサー横に移動させます。
ジョイントパイプφ12 と、ホースクランプを使用して
φ12 ホース L=200 を接続します。

P51 : ホースφ12 L=200mm
P52 : ジョイントパイプφ12
P83 : ホースクランプ刻印 180



- (4) 延長したブローバイホースを、サクションパイプに接続し、
ホースクランプで固定します。
コルゲートチューブφ22 を被せます。

P83 : ホースクランプ刻印 180
P90 : コルゲートチューブφ22



11. インタークーラーの取付け

パーツリスト

P7

P38

P36

P37

P39

No.

品名

数量

P7

インタークーラー

1

P36

インタークーラーブラケット No. 1

1

P37

インタークーラーブラケット No. 2

1

P38

インタークーラーブラケット No. 4

1

P39

スペーサー φ16

2

P61

M8 フランジボルト L15

4

P62

M8 フランジボルト L10

1

P63

M6 フランジボルト L35

2

P67

M8 六角ボルト L35

7

P71

M8 低頭キャップボルト L35

1

P73

M8 フランジナット

2

P74

M6 フランジナット

2

P80

M8 プレーンワッシャー φ18

8

P86

スペーサー φ25×φ10×L15

8

P88

コルゲートチューブ φ10

2

P93

タイラップ 小

4

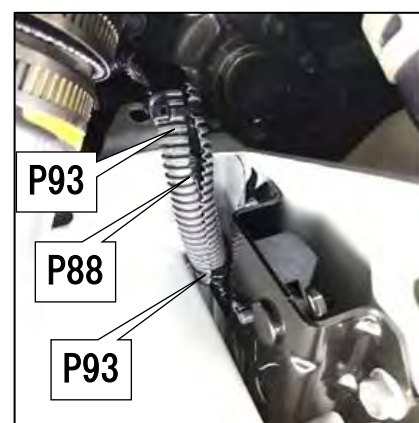
- (1) 左右のエアパックセンサーの配線にコルゲートチューブφ10 を取り付け両端をタイラップSで固定します。

P88 : コルゲートチューブφ10 ×2

P93 : タイラップ小 ×4

アドバイス

リインフォースメントのエッジ部に近い箇所に取り付けてください。



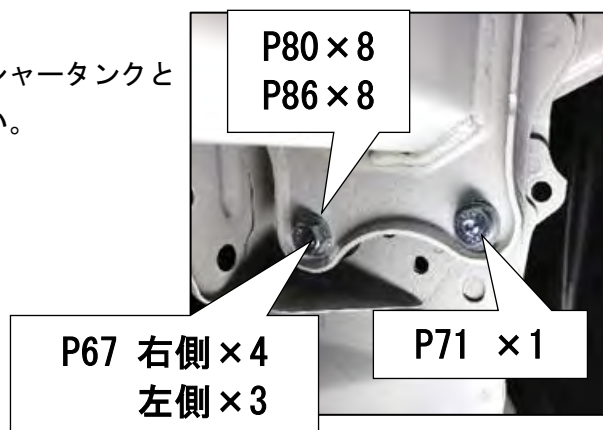
- (2) リインフォースメントと車両の間にスペーサーφ25×φ10×L15を入れて、⑪リインフォースメントを取り付けます。
車両左側の取付け点の下側1カ所のボルトは、ウォッシャータンクとの干渉を回避するため、低頭ボルトを使用してください。

P67 : M8 六角ボルト L35 × 7

P71 : M8 低頭キャップボルト L35

P80 : M8 プレーンワッシャー ×8

P86 : スペーサーφ25×φ10×L15 ×8



締め付けトルク : N・m (kgf・m)

T= 32 (3.3) (低頭キャップボルト、六角ボルト)

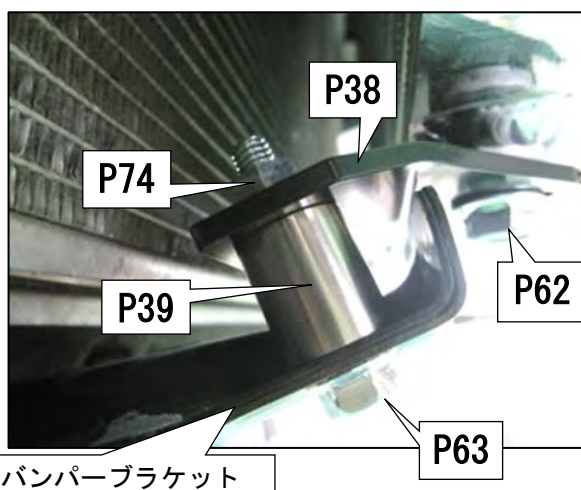
- (3) 2項(4)で加工したフロントバンパーブラケットと、インタークーラーブラケット No. 3 の間に、スペーサーφ16を入れ、M6 フランジボルト L35 と、M6 フランジナットを使って固定します。
※フランジナットが上部になるように固定してください。

P38 : インタークーラーブラケット No. 4

P39 : スペーサーφ16 ×2

P63 : M6 フランジボルト L35 ×2

P74 : M6 フランジナット ×2



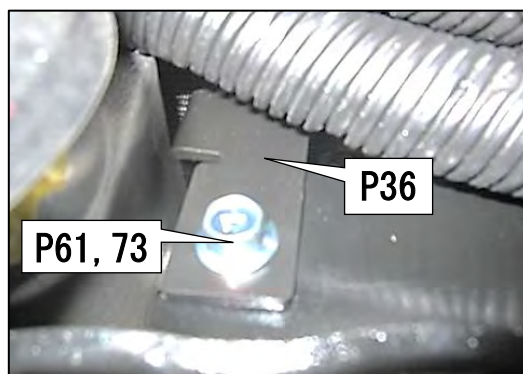
- (4) インタークーラーブラケット No. 1 と、No. 2 を、2項(2)で加工したリインフォースメントに仮付けします。

P36 : インタークーラーブラケット No. 1

P37 : インタークーラーブラケット No. 2

P61 : M8 フランジボルト L15 ×2

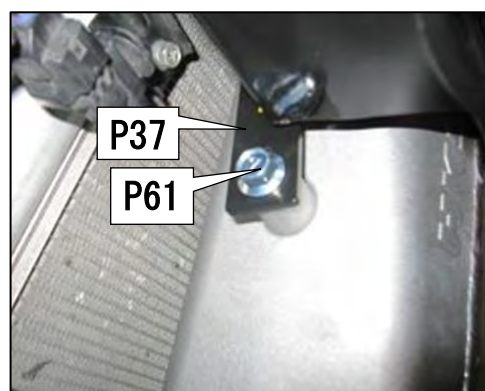
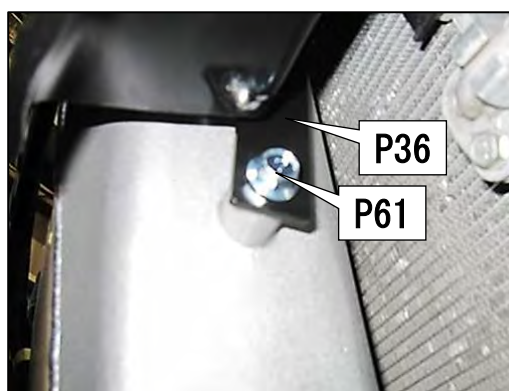
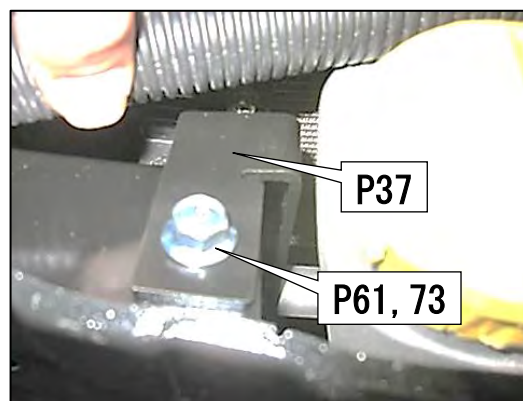
P73 : M8 フランジナット ×2



- (5) インタークーラーの両サイドには、M8 フランジボルト L15 を使用し、インタークーラー下側には、M8 フランジボルト L10 を使用して仮付けしてください。

P61 : M8 フランジボルト L15 × 2

P62 : M8 フランジボルト L10



- (6) インタークーラーが A/C コンデンサーや、リインフォースメントに干渉しないように、仮付けした箇所を本締めしてください。

アドバイス

可能な限りインタークーラーを水平に取り付けてください。

- (7) フロントバンパーカバーローアを仮付けします。
- (8) インタークーラー下部の外形をフロントバンパーカバーローアに罫書きます。



- (9) クリップを外し、フロントバンパーカバーローアの、罫書いた部品を取り外します。



- (10) 罫書いたラインに沿って、内側を除去します。



- (11) インタークーラーと干渉しないことを確認し、フロントバンパーカバーローアを取り付けます。

アドバイス

干渉がある場合、フロントバンパーを取り付ける際に取り付けが困難になります。



12. パイピングの取付け

パーツリスト

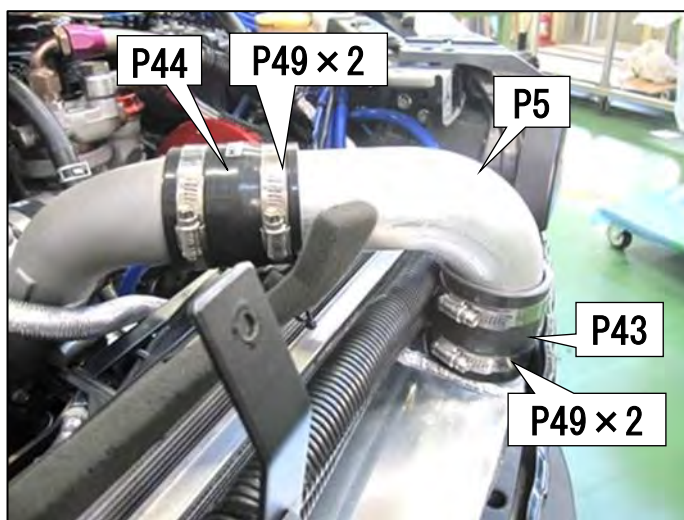
No.	品名	数量
P5	インタークーラーパイプ φ60	2
P6	チャンバーパイプ φ70	1
P43	シリコンホース φ60 L70	3
P44	シリコンホース φ60 L85	1
P45	シリコンホース φ74-79	1
P48	ホースバンド #48	2
P49	ホースバンド #40	8
P72	M4 ボタンボルト L10	2
P96	遮熱シート 300mm×300mm	1

- (1) インタークーラーパイプをシリコンホース
φ60 L70, φ60 L85 ホースバンド#40 を使用
して取り付けます。

P5 : インタークーラーパイプ
P43 : シリコンホース φ60 L70
P44 : シリコンホース φ60 L85
P49 : ホースバンド #40 ×4

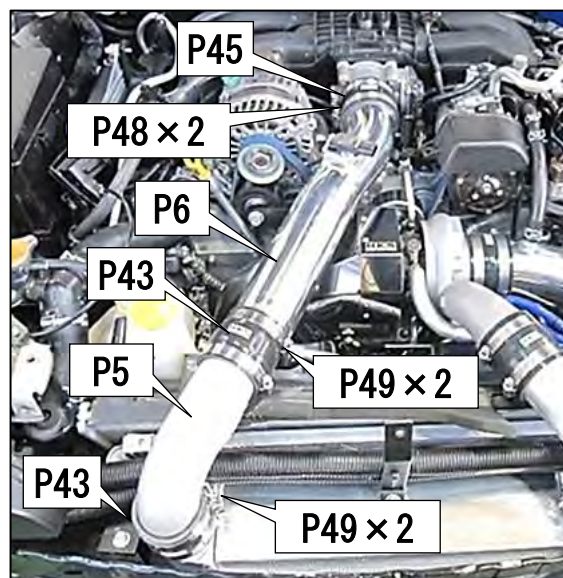
アドバイス

シリコンホースφ60の長さ違いに注意して
ください。純正ラジエータースポンジを、パイプの通る箇所を切り取ってください。



- (2) 車両右側のインタークーラーパイプと
チャンバーパイプを取り付けます。

P5 : インタークーラーパイプ
P6 : チャンバーパイプ
P43 : シリコンホース φ60 L70 ×2
P45 : シリコンホース φ74-79
P48 : ホースバンド #48 ×2
P49 : ホースバンド #40 ×4

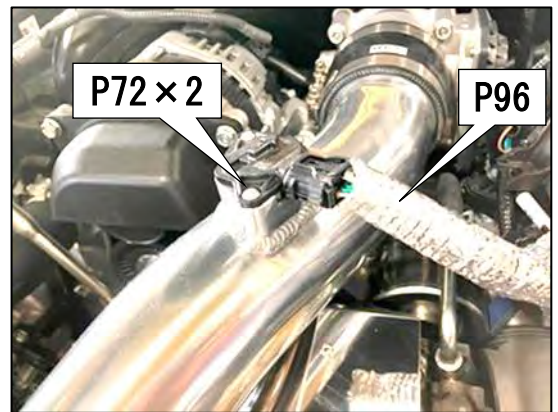


- (3) 遮熱シートを適度な大きさに切り、エアフローセンサーの配線に貼付け、ワイヤーで固定してください。

P96 : 遮熱シート

- (4) エアフローセンサーをチャンバーパイプに取り付けます。

P72 : M4 ボタンボルト L10 ×2



13. ノーマルパーツの取付け

整備要領書に従って作業を行ってください。

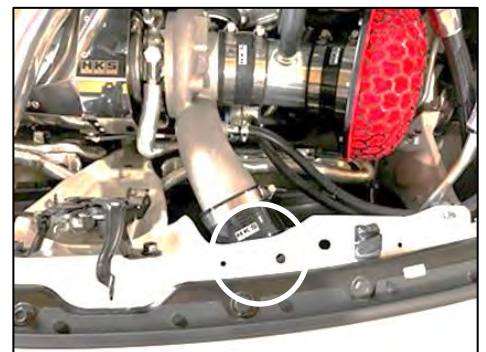
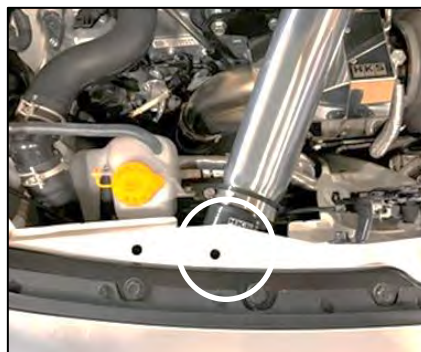
パーツリスト			
P94 	No.	品名	数量
	P69	M6 六角ボルト L25	1
	P70	M6 六角ボルト L15	1
	P76	M6 六角ナット	1
	P81	M6 大径ワッシャー	3
	P87	スペーサー φ20×φ6×L10	1
	P94	スポンジシート 50mm×50mm	2

- (1) ラジエーターサポートの裏側のパイプ近接部にスポンジシートを貼り付けます。

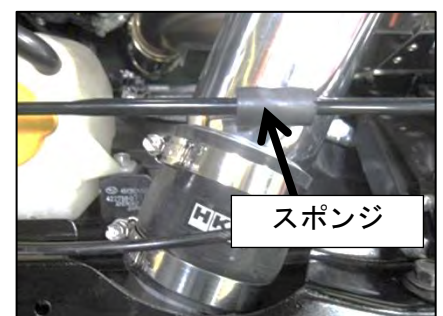
P94 : スポンジシート 50mm×50mm ×2

- (2) ラジエーターサポートを取り付けます。

パイプとラジエーターサポートが干渉しない事を確認してください。



- (3) フードサポートロッドのスポンジの位置を図の位置に移動します。



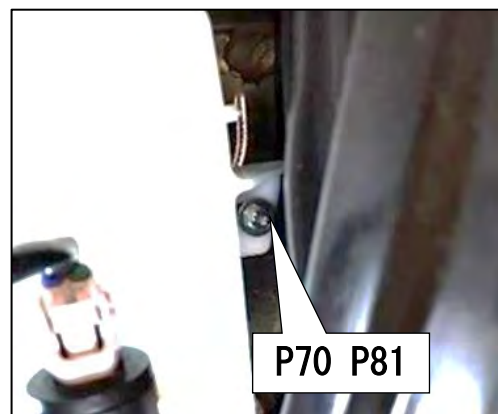
- (4) 六角ボルトのネジ部を脱脂し、スリーボンド TB1324 を薄く塗布し、2 項(23)で追加工した⑪ウォッシャータンクを取り付けます。上側の取付け箇所、車体とウォッシャータンクの間にスペーサーを挟み、リインフォースメントとの干渉を避けて取り付けます。

P69 : M6 六角ボルト L25

P70 : M6 六角ボルト L15

P81 : M6 大径ワッシャー ×2

P87 : スペーサーφ20×φ6×L10



- (5) 1 項 (13) で外した⑫ホーンを外した純正ボルトと M6 六角ナット、M6 大径ワッシャーを使用して、車両右側リインフォースメント取付け部の下側の孔に取り付けてください。

P76 : M6 六角ナット ×1

P81 : M6 大径ワッシャー ×1



- (6) 1 項と 2 項で外した部品を取り付けてください。
- (7) エンジンオイルを入れてください。
- (8) ホース脱着で抜けた分のクーラントを補充してください。
- (9) バッテリーマイナス端子を接続してください。



14. 取付け後の確認

付属の遮熱材は、必要に応じターボチャージャー、排気系部品周辺の高温となる部分に貼付けてください。

P95 : 遮熱テープ 70mm×1000mm

P96 : 遮熱シート 300mm×300mm

付属のタイラップとスポンジシートは、必要に応じ各部品の干渉防止に使用してください。

P91, P92, P93 : タイラップ

P94 : スポンジシート

取付け作業終了後、取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行ってください。

15.工場出荷時の設定

ターボチャージャーアクチュエーター設定圧力は、実走ブースト 60～70kPa (0.61～0.71kgf/cm²) に設定されています。

16. 自動車排出ガス試験結果証明書について

製品に付属されている自動車排出ガス試験結果証明書は車検等で提示が必要となる場合がありますので、車検証と一緒に大切に保管してください。

11001-AT011 ボルトオンターボ プロキット GTⅢ-RS 排出ガス試験結果証明書対応車種

メーカー	車名	車両型式	E/G 型式	年式	最終減速比 及び変速機	証明書 No
トヨタ	GR86	3BA-ZN8	FA24	2021/10～	4.100、MT	2400019
スバル	BRZ	3BA-ZD8	FA24	2021/08～	4.100、MT	2400018

※対応車種は 2024 年 8 月現在のもことになります。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181
<https://www.hks-power.co.jp/>